

(様式第 10)

九大院医医第 77 号
平成 28 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

九州大学病院長 石橋達朗 (印)

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1

開設者の住所及び氏名

住 所	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
氏 名	国立大学法人九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出 3 - 1 - 1	電話(092)641-1151 (代表)
-----------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1 血液・腫瘍・心血管内科 2 免疫・膠原病・感染症内科 3 消化管内科		
4 腎・高血圧・脳血管内科 5 内分泌代謝・糖尿病内科 6 肝臓・膵臓・胆道内科		
7 心療内科 8 神経内科 9 循環器内科 10 呼吸器科		
診療実績		

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化管外科(1) 2 胆道・膵臓・脾臓移植・腎臓移植外科 3 呼吸器外科(1) 4 乳腺外科(1) 5 内分泌外科 6 消化管外科(2) 7 肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 8 呼吸器外科(2) 9 乳腺外科(2) 10 血管外科 11 心臓血管外科 12 小児外科 13		
診療実績		

- (注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名 1 小児歯科 2 矯正歯科 3 歯内治療科 4 歯周病科 5 義歯補綴科 6 咬合補綴科 7 顎口腔外科 8 顔面口腔外科 9 歯科麻酔科 10 口腔画像診断科 11 口腔総合診療科 12 高齢者歯科・全身管理歯科		
歯科の診療体制		

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理部・病理診断科 3 総合診療科 4 先端分子・細胞治療科 5 形成外科

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
93床	床	床	床	1,182床	1,275床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	345人	202.4人	547.4人	看 護 補 助 者	21人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	85人	61.6人	146.6人	理 学 療 法 士	20人	臨 床 検 査 技 師	93人
薬 剤 師	83人	0人	83人	作 業 療 法 士	7人	衛 生 検 査 技 師	2人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	9人	そ の 他	0人
助 産 師	36人	0人	36人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1166人	10.5人	1176.5人	臨 床 工 学 士	16人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	15人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	29人
歯 科 衛 生 士	19人	0人	19人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	287人
管 理 栄 養 士	9人	0人	9人	診 療 放 射 線 技 師	69人	そ の 他 の 職 員	170人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	39人	眼科専門医	16人
外科専門医	56人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	12人	放射線科専門医	28人
小児科専門医	36人	脳神経外科専門医	7人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	18人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	16人
産婦人科専門医	22人	救急科専門医	4人
		合 計	282人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (石橋達朗) 任命年月日 平成26年1月1日

副病院長 (安全管理・危機管理担当) 平成18年4月1日～平成20年3月31日

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,034人	33人	1,067人
1日当たり平均外来患者数	2,213人	690人	2,903人
1日当たり平均調剤数	2,042 剤		
必要医師数	239人		
必要歯科医師数	39人		
必要薬剤師数	35人		
必要(准)看護師数	632人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	192.75m ²	鉄筋コンクリート	病床数	13床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
救命ICU	134.1m ²	鉄筋コンクリート	病床数	6床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 1,226.28m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	54床		
化学検査室	1,597 m ²	SRC	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
細菌検査室	629 m ²	SRC	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置			
病理検査室	371 m ²	SRC	(主な設備) ハーチャルライトスキャナー、自動免疫染色装置			
病理解剖室	350 m ²	SRC	(主な設備) ラミナフローユニットハイハート解剖台			
研究室	m ²		(主な設備)			
講義室	m ²		室数	室	収容定員	人
図書室	m ²		室数	室	蔵書数	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	79.2%	逆紹介率	60.6%
算出根拠	A: 紹介患者の数		21,806人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18,037人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,771人
	D: 初診の患者の数		29,774人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	0人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	0人
オクトレオチド皮下注射療法	0人
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	0人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のデモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにデモゾロミド内服投与の維持療法	0人
パクリタキセル腹腔内反復投与療法	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 ※該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	195
2	筋萎縮性側索硬化症	41	57	特発性拡張型心筋症	103
3	脊髄性筋萎縮症	4	58	肥大型心筋症	26
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	8	60	再生不良性貧血	67
6	パーキンソン病	170	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	17	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	82
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	45
11	重症筋無力症	187	66	IgA腎症	28
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	15
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	301	68	黄色靭帯骨化症	7
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	48	69	後縦靭帯骨化症	87
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	14
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	233
17	多系統萎縮症	24	72	下垂体性ADH分泌異常症	22
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	89	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライゾーム病	14	74	下垂体性PRL分泌亢進症	39
20	副腎白質ジストロフィー	5	75	クッシング病	18
21	ミトコンドリア病	12	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	10
22	もやもや病	75	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	52
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	105
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	5	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	22	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	123
30	遠位型ミオパチー	2	85	特発性間質性肺炎	23
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	55
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	38
34	神経線維腫症	36	89	リンパ管筋腫症	5
35	天疱瘡	35	90	網膜色素変性症	201
36	表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	5
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性肝硬変	134
39	中毒性表皮壊死症	5	94	原発性硬化性胆管炎	0
40	高安動脈炎	77	95	自己免疫性肝炎	7
41	巨細胞性動脈炎	2	96	クローン病	358
42	結節性多発動脈炎	20	97	潰瘍性大腸炎	489
43	顕微鏡的多発血管炎	21	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	12	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	101	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バーシャー病	29	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	491	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	173	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	199	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	60	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	12	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	6	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	0
113	筋ジストロフィー	1	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	4
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	5
116	アトピー性脊髄炎	4	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	3	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジドリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	5	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	2
140	ドラベ症候群	0	190	鯉耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	3
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	1
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名		患者数	疾患名		患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	6	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	2
222	一次性ネフローゼ症候群	11	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	13
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	1	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形形成異常性貧血	
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	1
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性降炎	0
251	尿素サイクル異常症	2	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	2
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・患者サポート体制充実加算
・歯科外来診療環境体制加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	・総合評価加算
・臨床研修病院入院診療加算(医科・歯科)	・病棟薬剤業務実施加算 1・2
・救急医療管理加算 1・2	・データ提出加算 2
・超急性期脳卒中加算	・退院支援加算 2
・妊産婦緊急搬送入院加算	・退院支援加算 3
・診療録管理体制加算 1	・精神疾患診療体制加算
・医師事務作業補助体制加算(100対1)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・救命救急入院料1(CCU病棟)
・看護職員夜間配置加算12対1 1	・救命救急入院料3(ハイケア病棟)
・看護補助加算 2 (精神科病棟のみ)	・救命救急入院料4(救命ICU)
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料 3
・重症者等療養環境特別加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
・無菌治療室管理加算2	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)
・緩和ケア診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料1
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算 1・2	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・感染防止対策地域連携加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・造血器腫瘍遺伝子検査
・高度難聴指導管理料	・HPV核酸同定検査及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・糖尿病合併症管理料	・検体検査管理加算(IV)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・国際標準検査管理加算
・がん患者指導管理料 1	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん患者指導管理料 2	・植込型心電図検査
・がん患者指導管理料 3	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・外来緩和ケア管理料	・ヘッドアップティルト試験
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・胎児心エコー法
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・人工膵臓検査、人工膵臓療法
・糖尿病透析予防指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来リハビリテーション診療料	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・外来放射線照射診療料	・脳磁図
・ニコチン依存症管理料	・神経学的検査
・がん治療連携計画策定料	・補聴器適合検査
・がん治療連携管理料	・ロービジョン検査判断料
・認知症専門診断管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・肝炎インターフェロン治療計画料	・内服・点滴誘発試験
・薬剤管理指導料	・有床義歯咀嚼機能検査
・地域連携診療計画加算(退院支援加算の加算)	・画像診断管理加算2
・医療機器安全管理料1	・歯科画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料2	・歯科画像診断管理加算2
・歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・ポジトロン断層撮影
・在宅患者歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・冠動脈CT撮影加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外傷全身CT加算	・CAD/CAM 冠
・大腸CT撮影加算	・歯科技工加算 1及び2
・乳房MRI撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・心臓MRI撮影加算	・組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腫瘍脊椎骨全摘術
・外来化学療法加算1	・頭蓋内腫瘍摘出術(脳腫瘍覚醒下マッピング加算)
・無菌製剤処理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・羊膜移植術
・運動器リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・網膜附着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・各リハビリテーション料の初期加算	・網膜再建術
・歯科口腔リハビリテーション料 2	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術
・児童思春期精神科専門管理加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・精神科作業療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・認知療法・認知行動療法 1	
・認知療法・認知行動療法 2	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・医療保護入院等診療料	・経皮的冠動脈形成術
・硬膜外自家血注入	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・一酸化窒素吸入療法	・経カテーテル大動脈弁置換術
・手術用顕微鏡加算	・経皮的中隔心筋焼灼術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・補助人工心臓	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・植込型補助人工心臓	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・同種心移植術	・輸血管理料 I
・経皮的な大動脈遮断術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ダメージコントロール手術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・歯周組織再生誘導手術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・手術時歯根面レーザー応用加算
・体外衝撃波胆石破碎術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下肝切除術	・歯根端切除手術の注3
・生体部分肝移植術	・麻酔管理料(I)
・同種死体肝移植術	・麻酔管理料(II)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・外来放射線治療加算
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・高エネルギー放射線治療
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・1回線量増加加算
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・定位放射線治療
・生体腎移植術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・膀胱水圧拡張術	・画像誘導密封小線源治療加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・病理診断管理加算2	
・口腔病理診断管理加算2	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・歯科矯正診断料	
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	
・入院時食事療養(I)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術(保険収載H28年4月～)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	51件
剖 検 の 状 況	剖検症例数 94例 / 剖検率 31.64

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
1	悪性幹細胞を標的とするヒト慢性骨髄性腫瘍制御法の確立	赤司 浩一	第一内科	1,300万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
2	RNA絶対定量による微小環境解析に基づくびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の差別化および新規治療法の開発	赤司 浩一	第一内科	2,790万円	補 日本医療研究開発機構AMED(革新的がん医療実用化研究事業)
3	生物毒や毒性物質に対するマスト細胞による生体防御調節機構の解明	赤星 光輝	第一内科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
4	GVHD/GVLに関わるメモリーT細胞分化のメカニズム	加藤 光次	第一内科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
5	Prdm16を介したミトコンドリア代謝経路の造血幹細胞制御における役割の解明	亀崎 健次郎	第一内科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
6	TIM-3/galectin-9を軸とした新規白血病幹細胞治療標的分子の同定	菊繁 吉謙	第一内科	741万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
7	原発性胆汁性肝硬変(PBC)の胆管細胞から明らかにする発症機序と治療への応用	下田 慎治	第一内科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
8	新規治療戦略の確立をめざした慢性骨髄系腫瘍幹細胞の同定	竹中 克斗	第一内科	169万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
9	強皮症の病態形成におけるCD226陽性CD8陽性T細胞の役割の解明と治療への応用	塚本 浩	第一内科	169万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
10	移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間HLA半合致移植法の開発	豊嶋 崇徳	第一内科	1,040万円	補 日本医療研究開発機構AMED(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業)
11	自己免疫疾患の病態におけるエフェクターB細胞と制御性B細胞の役割	新納 宏昭	第一内科	208万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
12	インターロイキン2の免疫抑制作用を活用する新しい免疫制御療法の開発	松岡 賢市	第一内科	52万円	補 日本医療研究開発機構AMED(革新的がん医療実用化研究事業)
13	大学病院研修医のストレスと対処法ならびにメンタルヘルスとの関わりに関する研究	丸山 徹	第一内科	65万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
14	DNase1L3の自己DNA処理機構の解明とSLEの病態形成への役割の検討	三苫 弘喜	第一内科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
15	高齢者造血器腫瘍の発症基盤としてのステムセルエイジングの解明	宮本 敏浩 (分担)	第一内科	845万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
16	好中球系統特異的前駆細胞の同定と分化機構の解明	森 康雄	第一内科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
17	Calreticulin遺伝子変異による骨髄増殖性疾患発症のメカニズムの解明	野波 篤	第一内科	156万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
18	幹細胞ニッチの機能破綻による発癌機構の解明	國崎 祐哉	第一内科	767万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
19	生体イメージングを用いた神経による造血幹細胞ニッチ制御機構の解明	國崎 祐哉	第一内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
20	全エクソソームによる非特異性多発性小腸潰瘍症の原因遺伝子同定	梅野 淳嗣	第二内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
21	非特異性多発性小腸潰瘍症における臨床徴候の調査および遺伝子変異部位との関連	江崎 幹宏	第二内科	200 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)
22	久山町高齢住民における認知症の実態とその危険因子・防御因子の解明に関する縦断研究	小原 知之	第二内科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
23	地域住民における余暇時の運動習慣および運動量が健康寿命に与える影響:久山町研究	岸本 裕歩	第二内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
24	一般地域住民を含む糖尿病患者データベース構築による前向きゲノムコホート研究	清原 裕	第二内科	741 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究A)
25	健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究の創設	清原 裕	第二内科	10,000 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)(認知症研究開発事業)
26	社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究	清原 裕 (分担)	第二内科	35 万円	補 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
27	睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為の基盤構築	清原 裕	第二内科	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
28	組織修復に基づく恒常性維持機構の変容による生活習慣病の病態解明と制御	清原 裕	第二内科	325 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 戦略的創造研究推進事業(CREST)
29	バイオバンクの構築と臨床情報データベース化	清原 裕	第二内科	220 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 科学技術試験研究委託事業
30	一般住民における心理特性・自律神経機能・失体感傾向と慢性疾患の関連:久山町研究	清原 裕	第二内科	40 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
31	海洋性 ω 3および ω 6脂肪酸が脳・心血管病、認知症、うつ病に及ぼす影響:久山町研究	清原 裕	第二内科	500 万円	補 公益財団法人 先端医薬研究振興財団 特定研究助成金
32	久山町高齢者におけるMRIを基盤にした脳血管障害、認知症、うつ病の疫学研究	清原 裕	第二内科	442 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究A)
33	後期高齢者の保健事業のあり方に関する研究	清原 裕	第二内科	30 万円	補 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)
34	循環器疾患における集団間の健康格差の実態把握とその対策を目的とした大規模コホート共同研究	清原 裕	第二内科	162 万円	補 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
35	真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点	清原 裕	第二内科	1,960 万円	補 国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム
36	身体活動・不活動量、運動量の実態とその変化が生活習慣病発症に及ぼす影響と運動介入支援の基盤構築に関する研究	清原 裕	第二内科	150 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
37	大規模ゲノム疫学共同研究による認知症の危険因子および防御因子の解明	清原 裕	第二内科	4,421 万円	補 日本医療研究開発機構 (AMED) (認知症研究開発事業)
38	半導体シーケンサーによる口腔フローラの網羅的解析結果と健康との関連性の解明(25293428)	清原 裕	第二内科	30 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
39	インジウム等レアメタルによる職業性疾患予防および病態解明のための疫学研究および動物実験研究	田中 昭代	第二内科	3,250 万円	補 労災疾病臨床研究事業費補助金
40	プラズマ・ナノマテリアル動態学の創成と安全安心医療科学の構築	田中 昭代	第二内科	2,574 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (新学術領域研究 (研究領域提案型))
41	慢性腎臓病 (CKD) 進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究	鶴屋 和彦 (分担)	第二内科	50 万円	補 日本医療研究開発機構 (AMED)
42	オートファジーは血管石灰化を抑制するか?	鳥巢 久美子	第二内科	182 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
43	地域一般住民において慢性腎臓病と脂質異常症が心血管病発症に及ぼす影響:久山町研究	永田 雅治	第二内科	286 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
44	日本人地域住民における心房細動の実態と危険因子に関する研究:久山町研究	秦 淳	第二内科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
45	インジウム作業者の毛髪汚染-インジウムの毛髪付着ダイナミクス研究	平田 美由紀	第二内科	78 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
46	頸動脈の動脈硬化病変の進行と心血管病発症の予測因子としての家庭血圧の意義	福原 正代	第二内科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
47	腎移植患者におけるPolyomavirusBK感染に関する前向き研究	升谷 耕介	第二内科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
48	地域住民における血糖関連バイオマーカーと糖尿病合併症に関する追跡研究	向井 直子	第二内科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
49	視覚障害を及ぼす眼科疾患の危険因子および予防因子の解明:久山町研究	安田 美穂	第二内科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
50	低酸素による肝炎増悪と発癌メカニズムの解析	加藤 正樹	第三内科	156 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
51	炎症性腸疾患腸管粘膜におけるsmad7発現亢進のメカニズムと新規治療法の開発	中村 和彦	第三内科	104 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
52	下部食道括約筋における筋原性緊張調節機序の解明と新規食道アカラシア治療薬の開発	中村 和彦	第三内科	143 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
53	カテコラミンを介した細菌と宿主との対話:心身相関の新しいパラダイムの創出	須藤 信行	心療内科	169 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)
54	腸内細菌による宿主行動変化の全容とそのメカニズムの解明	須藤 信行	心療内科	377 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
55	摂食障害の診療体制整備に対する研究	須藤 信行	心療内科	60 万円	補 厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業 (障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))
56	心身症・摂食障害の研究ネットワーク拠点整備と治療プログラムの開発	須藤 信行	心療内科	80 万円	補 厚生労働省精神・神経疾患研究
57	統合医療としてのヨガの有用性と安全性に関する研究	岡 孝和	心療内科	520 万円	委 厚生労働科学研究委託事業
58	イビキ症における心身相関:イビキは“こころ”に影響するか	古川 智一	心療内科	78 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
59	短鎖脂肪酸による宿主行動変化の全容とそのメカニズム	朝野 泰成	心療内科	195 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)
60	神経性やせ症の入院治療ランダム化試験とバイオマーカーとしてのmiRNAの応用	高倉 修	心療内科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
61	肥満に対する減量およびリバウンド防止のための効果的治療法の開発と検証	野崎 剛弘	心療内科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
62	神経性食欲不振症における低栄養状態が代謝機能・脳機能に及ぼす影響の客観的評価	河合 啓介	心療内科	195 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
63	神経性食欲不振症の治療がもたらす脳機能の変化とその意義の解明	権藤 元治	心療内科	195 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
64	慢性疼痛のトランスレーショナルリサーチ:—精神心理学的・神経免疫学的側面からの病態解明と評価法開発—	細井 昌子	心療内科	1,634 万円	委 日本医療研究開発機構 (AMED) (慢性の痛み解明研究事業)
65	一般住民における心理特性・自律神経機能・失体感傾向と慢性疾患の関連:久山町研究	細井 昌子	心療内科	117 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
66	慢性疼痛における養育スタイルと生物心理社会的メカニズム	河田 浩	心療内科	130 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
67	不眠症に対する自律訓練法の効果研究:薬物療法とのランダム化比較試験	富岡 光直	心療内科	286 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
68	オリゴデンドロサイトのコネクシン蛋白に注目したALSの病態解明と新規治療薬の開発	小早川 優子	神経内科	120 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (研究活動スタート支援)
69	グリアシンシチウムを介するエネルギー供給機構の破綻による巨大脱髄巢形成機序の解明	真崎 勝久	神経内科	259 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
70	海馬自発てんかんモデルにおけるコネクシンを標的とした病態の解明と新規治療法の開発	鎌田 崇嗣	神経内科	182 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
71	脱髄性疾患・統合失調症における白質グリア障害の機構解明と画期的治療法の開発	吉良 潤一	神経内科	1,313 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (新学術領域研究 (研究領域提案型))
72	コネクシンサイトパッチーによる脱髄性疾患の誘導機構の解明と新規分子標的療法の開発	吉良 潤一	神経内科	585 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
73	保護的ミクログリアの選択的・時限的活性化による多発性硬化症の完全寛解誘導療法開発	山崎 亮	神経内科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
74	グリア特異的コネクシンコンディショナルノックアウトによる巨大同心円状脱髄巣の誘導	吉良 潤一	神経内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
75	日本人多発性硬化症の全ゲノム関連解析に基づく $\gamma\delta$ T細胞と自然免疫を標的とした治療	松下 拓也	神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
76	脳コネクトーム可視化によるアルツハイマー病での分子病理進展機序の解明	山下 謙一郎	神経内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
77	てんかんにおける大域ネットワーク機能障害の病態解明とそれに基づいた治療法の開発	上原 平	神経内科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
78	T細胞によるグリアコネクシン喪失機構の解明とそれに基づく脱髄疾患の新規治療法開発	渡邊 充	神経内科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
79	C型レクチンMincleの中枢脱髄疾患エフェクター相での役割に基づいた治療法開発	篠田 紘司	神経内科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
80	抗Neurofascin155抗体関連中枢・末梢神経障害症候群(CCPD/CIDP)の診療ガイドライン作成のための定量的抗体測定法の開発と基盤エビデンスの構築	吉良 潤一	神経内科	769 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(難治性疾患実用化研究事業)
81	多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝子環境因子探索による病態解明	吉良 潤一	神経内科	3,998.8 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(難治性疾患実用化研究事業)
82	抗neurofascin155(NF155)抗体測定系の確立	吉良 潤一	神経内科	500 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)(橋渡し研究)
83	エビデンスに基づいた神経免疫疾患の早期診断基準・重症度分類・治療アルゴリズムの確立	吉良 潤一(分担)	神経内科	75 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
84	スモンに関する調査研究	吉良 潤一(分担)	神経内科	80 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
85	運動失調症の医療基盤に関する調査研究	吉良 潤一(分担)	神経内科	90 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
86	神経変性疾患領域における基盤的調査研究	吉良 潤一(分担)	神経内科	60 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
87	免疫性ニューロパチーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築	吉良 潤一(分担)	神経内科	1500 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(難治性疾患実用化研究事業)
88	HAMの革新的な医薬品等の開発促進に関する研究	吉良 潤一(分担)	神経内科	50 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(難治性疾患実用化研究事業)
89	多系統萎縮症の治療法開発研究	吉良 潤一(分担)	神経内科	60 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(難治性疾患実用化研究事業)
90	ギラン・バレー症候群に対するエクリズムアの安全性と有効性を評価する前向き・多施設共同・第II相試験	吉良 潤一(分担)	神経内科	120 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(難治性疾患実用化研究事業)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
91	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	村井 弘之 (分担)	神経内科	100 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
92	認知症と心血管病の改善を図る迷走神経刺激効果を有する簡易トレーニングプログラムの開発とメカニズムの解明	井手 友美	循環器内科	979.8 万円	委 厚生労働科学研究委託事業(認知症対策総合研究事業)
93	ナノ医薬学融合に基づくPPAR γ ナノ医薬による難治性心血管病の革新的治療法の開発	的場 哲哉	循環器内科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
94	重症心不全における自由水排泄促進に抗する代償機構の解明	日浅 謙一	循環器内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
95	容量負荷を伴う成人先天性心疾患の介入による右室の可逆性の検討	坂本 一郎	循環器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
96	圧反射機能不全による心不全増悪の機序に関する研究	坂本 隆史	循環器内科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
97	ミトコンドリアDNAをターゲットとした新しい心不全治療の開発	藤野 剛雄	循環器内科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
98	肺の生活習慣病の克服を目指した医療ネットワークの構築-喫煙関連呼吸器難病に対する前向きコホート研究-	中西 洋一	呼吸器科	399 万円	補 文部科学省特別経費プロジェクト「広域ネットワーク型臨床研究事業」
99	チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究	中西 洋一	呼吸器科	4,227 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(革新的がん医療実用化研究事業)
100	イノベーションを推進する国際的人材の育成-アジアの表玄関における4大学双方向性教育連携-	中西 洋一	呼吸器科	14,740 万円	補 文部科学省(未来医療研究人材養成拠点形成事業)
101	標準的治療の確率が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の確立	中西 洋一	呼吸器科	830 万円	委 厚生労働省(医療技術実用化総合研究事業)
102	臨床研究中核病院整備事業	中西 洋一	呼吸器科	5,621 万円	委 厚生労働省(臨床研究品質確保体制整備事業)
103	SP-D欠損マウスを用いた喘息COPDオーバーラップ症候群の病態解析と治療法探索	福山 聡	呼吸器科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
104	重症喘息を対象としたCTLA4-Ig(Abatacept, オレンシア)の適応拡大をめざした医師主導治験および非臨床研究	松元 幸一郎	呼吸器科	466 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)
105	COPDに関する啓発と早期発見のための方策に関する研究	松元 幸一郎	呼吸器科	80 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業)
106	閉塞性肺疾患の増悪に関わるB7H1に対し既存薬再開発を含めた創薬をめざす基盤研究	松元 幸一郎	呼吸器科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
107	EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌における癌幹細胞マーカーCD44vの機能解析	岡本 勇	呼吸器科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
108	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法法の確立に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	2,629 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
109	癌幹細胞を標的とした進行非扁平上皮非小細胞肺癌におけるシスプラチン+ペメトレキセド+スルファサラジン併用療法の第I相試験(医師主導治験)	岡本 勇	呼吸器科	1,000 万円	補 文部科学省 橋渡し研究 加速ネットワークプログラム
110	アンメットメディカルニーズにおける抗がん薬のPK/PDに基づく最適化医療の実施	岡本 勇	呼吸器科	18 万円	委 日本医療研究開発機構 (AMED)
111	ALK融合遺伝子陽性のIII期非小細胞肺癌に対する集学的治療法の開発に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	200 万円	委 日本医療研究開発機構 (AMED)
112	Liquid Biopsyによる分子標的薬の治療感受性・抵抗性の予測および新規獲得体制機序の解明	岡本 勇	呼吸器科	195 万円	委 日本医療研究開発機構 (AMED)
113	非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセドを用いた術後補助化学療法	岡本 勇	呼吸器科	26 万円	委 日本医療研究開発機構 (AMED)
114	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	岡本 勇	呼吸器科	40 万円	補 国立がん研究センター研究開発費
115	子宮内膜幹細胞の老化とそれに基づく着床不全の病態の解明	加藤 聖子	産科婦人科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
116	着床・初期胎盤形成における絨毛・子宮内膜幹細胞の維持機構とその破綻の病態の解明	加藤 聖子	産科婦人科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
117	標準治療抵抗性卵巣がんに対する核酸治療製剤の実用化の為の橋渡し研究	加藤 聖子	産科婦人科	2,810 万円	補 日本医療研究開発機構 (AMED)
118	生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	加藤 聖子	産科婦人科	374 万円	補 日本医療研究開発機構 (AMED)
119	転写調節機構から見た子宮体癌の浸潤・転移機構を司る新たな分子機構の解明	浅野間 和夫	産科婦人科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
120	婦人科悪性腫瘍の転移を制御するGPCRシグナルの解析	八木 裕史	産科婦人科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
121	エキソーム解析と患者iPSC由来神経細胞を用いたSSPEの包括的な病態解析	石崎 義人	小児科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
122	全身型若年性特発性関節炎の早期診断法の確立	石村 匡崇	小児科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
123	気管支肺異形成での炎症細胞産生NGALとの関連解析	市山 正子	小児科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
124	胎児子宮内発育遅延の新しい病因・病態としての自然免疫受容体Nod1の解析	井上 普介	小児科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
125	新生児気管支肺異形成BPD重症化因子の検索と炎症特異的な治療戦略の開発	落合 正行	小児科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
126	小児救急・急変対応の看護師対象遠隔シミュレーション教育法の開発	賀来 典之	小児科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
127	小児がん患者における輸血後鉄過剰症に対する鉄キレート療法の有用性	古賀 友紀	小児科	117 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
128	ホジキンリンパ腫における標準的治療の確立	古賀 友紀 (分担)	小児科	30 万円	委 日本医療研究開発機構（AMED）
129	Pten変異マウスを用いた新しいてんかん病理・治療モデルの確立	酒井 康成	小児科	180 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
130	てんかん発射の認知機能に与える影響の解明～近赤外線スペクトロスコピーによる解析	實藤 雅文	小児科	156 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
131	原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	高田 英俊	小児科	550 万円	委 日本医療研究開発機構（AMED）
132	X連鎖劣性遺伝性疾患女性患者由来iPS細胞を用いたX染色体不活化機構の解明	高田 英俊	小児科	169 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
133	自己炎症性疾患とその類縁疾患の診断基準、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	高田 英俊 (分担)	小児科	60 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究（難治性疾患政策研究）
134	自己炎症性疾患の治療標的分子同定および薬剤開発基盤整備	高田 英俊 (分担)	小児科	80 万円	委 日本医療研究開発機構（AMED）
135	iPS細胞を活用した血液・免疫系難病に対する革新的治療薬の開発	高田 英俊 (分担)	小児科	650 万円	委 日本医療研究開発機構（AMED）
136	高IgE症候群の病因・病態解明と新規治療法開発	高田 英俊 (分担)	小児科	100 万円	委 日本医療研究開発機構（AMED）
137	Nod1リガンド誘発冠動脈炎の発症機序に関する検討	田中 珠美	小児科	195 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
138	重篤な疾患や障害をもつ子どもの延命に関わる治療方針決定について	戸田 尚子	小児科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
139	近赤外線スペクトロスコピーを用いた早産児の脳活動と発達特性の相関分析	鳥尾 倫子	小児科	91 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
140	臍帯血有核赤血球の免疫学的応答性と機能的意義の解明	中島 健太郎	小児科	182 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
141	川崎病類似Nod1リガンド誘発冠動脈炎におけるオートファジー機構の解析	西尾 壽乗	小児科	104 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
142	川崎病の病因・病態解明に基づく新規治療・予防法の開発研究	西尾 壽乗 (分担)	小児科	1,030 万円	委 日本医療研究開発機構（AMED）
143	Henoch-Shonlein紫斑病における血管内皮細胞と自然免疫系の関わり	西山 慶	小児科	130 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）
144	小児劇症肝炎に対する間葉系細胞療法の研究	水口 壮一	小児科	156 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
145	iPS細胞を用いた自己炎症性疾患における血管炎・動脈硬化の機序解明	山村 健一郎	小児科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
146	原発性免疫不全症に対する非特異的な遺伝子改変を抑制した新規遺伝子治療法の開発	山元 裕之	小児科	119 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
147	新規人工ウイルスによるDDSとmicroRNA制御による膵癌治療の新展開	永井 英司	第一外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
148	膵癌微小環境reprogrammingによる癌進展抑制性膵星細胞集団の誘導	水元 一博	第一外科	585 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
149	IPMN併存膵癌の分子生物学解析に基づく膵癌早期診断法の開発	大塚 隆生	第一外科	585 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
150	周皮細胞による腫瘍血管ネットワークのリモデリングに着目した新規膵癌治療戦略	真鍋 達也	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
151	膵癌微小環境normalizationと浸潤を導くleading cellの解明	大内田 研宙	第一外科	520 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
152	膵星細胞を介したマトリックス・リモデリングによる膵癌治療の新展開	宮坂 義浩	第一外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
153	膵癌の転移・播種における間質細胞(線維芽細胞・膵星細胞)との関わり	森山 大樹	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
154	オートファジーによる癌幹細胞静止期維持機構の解明及び人工ウイルス治療法の開発	仲田 興平	第一外科	507 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
155	オートファジーによる癌治療抵抗性機構としてのmicroRNAの役割の解明	仲田 興平	第一外科	140 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
156	メタボローム解析による膵癌特異的代謝産物の同定と分子診断マーカーへの展開	寅田 信博	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
157	化合物ライブラリーを利用した膵癌間質標的新規治療薬の開発	富永 洋平	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
158	膵癌局所浸潤における微小環境構成因子としての脂肪組織についての解析	当間 宏樹	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
159	膵星細胞のマトリックス・リモデリングにおける免疫細胞の役割とその制御	難波江 俊永	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
160	膵癌のdesmoplasiaを標的とした治療薬と新しい薬剤送達システムの開発	白羽根 健吾	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
161	膵癌間質細胞の表現型に基づく治療抵抗性機序解明と抗間質薬内包ナノカプセルの開発	前山 良	第一外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
162	転移臓器における播種性癌細胞のセレクション機構の解明	鬼丸 学	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
163	膵癌肝転移における微小環境誘導メカニズムの解明とそのリモデリングによる制御	藤田 逸人	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
164	新規ウイルス改変による治療耐性克服と膵癌治療への応用	江上 拓哉	第一外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
165	癌間質改変による人工ウイルス標的細胞個別化治療戦略の新展開	安井 隆晴	第一外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
166	膵癌過程での間質のオートファジー機能の解明と新規膵癌診断・発癌予防戦略の開発	江口 大樹	第一外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
167	Notch4を標的としたホルモンレセプター陰性、HER2陰性乳癌の治療法開発	久保 真	第一外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
168	がん幹細胞化に関与するSphere形成システムを標的とした革新的治療開発	前原 喜彦	第二外科	5,525 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究S)
169	PD1阻害剤効果規定バイオマーカー探索と新規免疫チェックポイントシグナル分子同定	前原 喜彦	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
170	多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	前原 喜彦	第二外科	4,260 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)
171	癌進展及び創傷治癒における脾臓由来マクロファージを用いた革新的治療法の開発	調 憲	第二外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
172	肝線維化進展におけるマクロファージと肝星細胞間の糖鎖シグナルの分子機能解析	調 憲	第二外科	559 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
173	宇宙空間における筋萎縮(Sarcopenia)の分子機序解明と新たな治療への展開	吉住 朋晴	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
174	大腸癌における炎症性メディエーターとメチル化異常に着目した新しい治療法の確立	沖 英次	第二外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
175	腹腔内転移癌を対象としたHB-EGFを分子標的とするがん治療BK-UMの第2相試験	沖 英次	第二外科	10,325 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)
176	難治性消化管癌の染色体ダイナミクス解析と革新的治療法の開発	佐伯 浩司	第二外科	78 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)
177	食道癌術前治療の効果予測分子バイオマーカーに関する多施設共同観察研究	佐伯 浩司	第二外科	100 万円	補 公益財団法人がん集学的治療財団研究助成金
178	肺扁平上皮癌における喫煙量別比較に基づいた新たなドライバー遺伝子変異の同定	岡本 龍郎	第二外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
179	脂肪肝の再生に於けるオートファジーの役割と分子機序の解明	池上 徹	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
180	動脈硬化巣における老化制御遺伝子BubR1の役割とその分子機序の解明	松本 拓也	第二外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
181	非小細胞肺癌における抗炎症及び抗線維化による腫瘍制御とその分子機序の解明	庄司 文裕	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
182	悪性胸膜中皮腫の病態解明と遺伝子治療への応用	庄司 文裕	第二外科	50 万円	補 公益財団法人臨床研究奨励基金
183	治療抵抗性肝細胞癌におけるマイクロRNAの機能解析と新規治療への展開	伊藤 心二	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
184	悪性胸膜中皮腫の微小環境の特性を標的とした新規治療法の開発	諸富 洋介	第二外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
185	食道癌における酸化ストレス損傷のメカニズム解明と革新的治療法の開発	中島 雄一郎	第二外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
186	食道癌免疫チェックポイント機構の分子機序の解明	中島 雄一郎	第二外科	200 万円	補 公益財団法人上原記念生命科学財団研究奨励金
187	Metabolic Surgeryにより糖尿病が改善する分子メカニズムの解析	由芽 隆史	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
188	EMT関連遺伝子PLS3の乳癌領域での発現の意義について	上尾 裕紀	第二外科	13 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
189	ALK阻害剤に対する耐性機序の網羅的解析と耐性克服の治療戦略の確立	豊川 剛二	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
190	脂肪性肝炎に起因する肝癌の切除成績	播本 憲史	第二外科	100 万円	補 公益財団法人三井生命厚生財団
191	変形性関節症における新しい病態機序-Transferrin性アミロイド沈着-	赤崎 幸穂	整形外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
192	PLGAマイクロカプセルによる新規DDSを用いたスタチン剤の変形性関節症への応用	岡崎 賢	整形外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
193	高密度スキャフォールドフリー脂肪由来幹細胞構造体を用いた骨軟骨組織再生の探索的臨床研究	岡崎 賢	整形外科	3300 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)
194	極低摩擦・極低摩耗生体関節に学ぶ生体規範超潤滑ハイドロゲル人工軟骨の実用化	岡崎 賢 (分担)	整形外科	150 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別推進研究)
195	X線動画像とCT、CADモデルを用いた股関節の三次元動態解析	濱井 敏	整形外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
196	力学的強度を保ちつつ挿入可能な椎弓根スクリュー径に関する検討	播谷勝三	整形外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
197	MMP2/MT1-MMP機能不全に伴う骨破壊機序の解明	福士 純一	整形外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
198	骨髄間質細胞を標的とした、悪性骨軟部腫瘍の新規治療法の開発	松本 嘉寛	整形外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
199	人工膝関節置換術後動態解析のコンピュータシミュレーションによる実現化	水内 秀城	整形外科	78 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究B)
200	ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤SAHAのオートファジー細胞死誘導機構の解析	岡田 貴充	整形外科	169 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
201	DPC情報を用いた脳卒中大規模データベースによるベンチマーキングに関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	550 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
202	脳卒中後遺症の低減に向けた汎用性の高い革新的治療法の開発	飯原 弘二	脳神経外科	1833 万円	委 日本医療研究開発機構 (AMED) (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業)
203	脳卒中を含む循環器病対策の評価指標の開発に関する研究	飯原 弘二 (代表)	脳神経外科	1248 万円	委 日本医療研究開発機構 (AMED) (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業)
204	脳卒中を含む急性循環器疾患の救急医療の適確化をめざした評価指標の開発に関する研究	飯原 弘二	脳神経外科	1495 万円	委 日本医療研究開発機構 (AMED) (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業)
205	腫瘍幹細胞由来エクソソーム解析による脳腫瘍形成機序解明と新規診断・治療法の開発	溝口 昌弘	脳神経外科	520 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
206	トランスクリプトーム解析を基盤にした膠芽腫形成の分子メカニズム解明と治療への応用	吉本 幸司	脳神経外科	221 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
207	ハイパースペクトルカメラを用いた可視分光解析による術中脳虚血評価法の開発	村上 信哉	脳神経外科	208 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
208	手術器具による視野遮蔽領域を補完する”死角なき”小児外科手術ロボットの開発	家入 里志	小児外科	299 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
209	共焦点内視鏡とスペクトロスコープによるHybrid消化管神経叢診断システムの確立	家入 里志	小児外科	110 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (挑戦的萌芽研究)
210	先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患群 (総排泄遺残、総排泄外反、MRKH症候群) におけるスムーズな成人期医療移行のための分類・診断・治療ガイドライン作成	家入 里志 (分担)	小児外科	30 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究 (難治性疾患政策研究)
211	脱落乳歯幹細胞を用いた立体肝組織移植による小児代謝性肝疾患根治療法の開発	田口 智章	小児外科	5000 万円	補 橋渡し研究加速ネットワークプログラムシーズB
212	小児がん腫瘍幹細胞、循環腫瘍細胞ならびに微小転移細胞の細胞生物学的特性	田口 智章 (分担)	小児外科	75 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
213	先天性消化管閉塞性疾患における好酸球性炎症の検討	田口 智章 (分担)	小児外科	10 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
214	小児固形悪性腫瘍の非侵襲的診断と新規治療開発のためのトランスレーショナルリサーチ	田口 智章 (分担)	小児外科	70 万円	補 文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究A)
215	統合的ゲノムスキャンニングによる難治性小児固形腫瘍の新規標的分子の探索	田口 智章 (分担)	小児外科	45.4 万円	委 文部科学省科学研究費 次世代がん研究推進プロジェクト
216	小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	田口 智章 (代表)	小児外科	1,950 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究 (難治性疾患政策研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
217	難治性神経芽腫に対するIL2、CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	田口 智章 (分担)	小児外科	200万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(がん対策推進総合研究)
218	小児期発症の希少性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	田口 智章 (分担)	小児外科	20万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
219	難治性神経芽腫に対する分化誘導療法併用下でのエピジェネティック治療開発	田口 智章 (分担)	小児外科	200万円	委 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(革新的がん医療実用化研究)
220	身体障害者の認定基準の今後のあり方に関する研究	田口 智章 (分担)	小児外科	150万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(障害者対策総合研究)
221	神経芽腫における標的分子の同定と分子情報データベースの作成(分担課題:神経芽腫遺伝子変異の網羅的解析と新規遺伝子を標的とする治療法の開発)	田口 智章 (分担)	小児外科	30万円	委 厚生労働省がん研究開発費
222	Alpha-fetoprotein (AFP)-L2分画による小児固形悪性腫瘍の新規診断システム開発	木下 義晶	小児外科	50万円	補 がんの子どもを守る会 治療研究助成
223	小児の肉腫や脳腫瘍等に対するペプチドワクチン単剤療法の開発	木下 義晶 (分担)	小児外科	100万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野(がん対策推進総合研究)
224	難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究	木下 義晶 (分担)	小児外科	35万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
225	転移性肝芽腫に対する薬剤開発戦略としての国際共同臨床試験	宗崎 良太 (分担)	小児外科	100万円	委 厚生労働省医療技術実用化総合研究事業
226	小児肝移植におけるリンパ球及びその遊走因子の解析による免疫監視システムの開発	江角 元史郎	小児外科	120万円	補 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)
227	ヒト神経芽腫MYCN/NCYMマウスモデル構築による大規模分子標的創薬	中川原 章	小児外科	1000万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
228	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	古江 増隆	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	28,912.4万円	補 厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 食品の安全確保推進研究
229	内因性AhRリガンドのアトピー性皮膚炎への効果	内 博史	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	104万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
230	上皮成長因子受容体阻害薬によるざ瘡様発疹における芳香族炭化水素受容体の活性化	辻 学	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	130万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
231	AhR内因性リガンドの皮膚における役割の解明	古賀 沙緒里	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	169万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
232	膀胱癌に対するキラーおよびヘルパーT細胞をとともに活性化するがん免疫療法の開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	351万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
233	腎細胞癌に対するImmune checkpoint阻害薬を用いた新規治療法の開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	195万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
234	前立腺癌化学予防薬がアンドロゲンシグナルに及ぼす分子薬理学的機序の解析	横溝 晃	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	169万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
235	前立腺癌の上皮間葉転換と去勢抵抗性のクロストーク	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
236	膀胱がんに対する新たなBCG注入療法の開発	武内 在雄	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
237	下部尿路における平滑筋の新規収縮弛緩調節機構の解明とその臨床応用	梶岡 俊一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
238	統合失調症におけるミクログリア制御異常による白質・シナプス伝達障害の機構解	神庭 重信	精神科神経科	1,365 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
239	グリアアセンブリによる脳機能発現の制御と病態	神庭 重信(分担)	精神科神経科	13 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
240	うつ病の責任脳回路の系統的同定とニューロン・グリア傷害の実像解明	神庭 重信	精神科神経科	585 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
241	精神疾患の病態を反映した鑑別診断、重症度予測が可能な血中バイオマーカーの実用化研究	神庭 重信	精神科神経科	1,785 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)(障害者対策総合研究開発事業)
242	ためこみ症と強迫症・不安症の生物学的差異の検討	中尾 智博	精神科神経科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
243	生体肝移植後におけるレシピエントとドナーの精神症状に関する臨床研究	光安 博志	精神科神経科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
244	脳の形態画像解析と遺伝子多型解析による強迫性障害の病態、診断、治療研究	光安 博志(分担)	精神科神経科	9 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
245	ポリジェニック脳神経画像解析による統合失調症の早期診断法の開発	鬼塚 俊明	精神科神経科	150 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)
246	双極性障害、うつ病の脳磁図反応:聴覚MMNによる補助診断方法の研究	鬼塚 俊明	精神科神経科	100 万円	補 精神薬療分野一般研究助成
247	精神疾患における神経グリア相関異常を解明するための再生医学技術を用いた橋渡し研究	加藤 隆弘	精神科神経科	585 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
248	「現代抑うつ症候群(新型うつ・現代型うつ)」の多軸的な診断評価法の開発	加藤 隆弘	精神科神経科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
249	精神疾患患者早期介入のための医療従事者向け教育研修プログラムの開発—メンタルヘルス・ファーストエイドの応用—	加藤 隆弘	精神科神経科	331 万円	補 日本医療研究開発機構(AMED)(障害者対策総合研究開発事業)
250	脳内酸化ストレス反応を介した統合失調症の病態・治療機序の解明	加藤 隆弘	精神科神経科	100 万円	補 九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点 若手育成事業
251	統合失調症患者由来iN細胞を用いたマイクロエンドフェノタイプの同定と病態解明	佐方 功明	精神科神経科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
252	ためこみ癖に関する疫学調査および治療的介入の試み	山田 聖	精神科神経科	40 万円	補 平成27年度メンタルヘルス岡本記念財団研究活動助成金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
253	神経振動子の位相リセットによる音声コミュニケーション原理	上野 雄文 (分担)	精神科神経科	150 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
254	社会機能的転帰評価尺度SLOF-日本語版の妥当性検討に関する研究	上野 雄文	精神科神経科	50 万円	補 公益財団法人精神・神経科学振興財団受託研究
255	抑うつ神経症における聴性定常反応(ASSR) γ 帯域同期性機能活動と治療効果に関するfMRI研究	上野 雄文	精神科神経科	50 万円	補 平成27年度メンタルヘルス岡本記念財団研究活動助成金
256	統合失調症患者の社会機能障害についての多角的脳画像研究	織部 直弥	精神科神経科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
257	ヒト体細胞由来ミクログリア作製法の確立と精神疾患研究への応用	扇谷 昌宏	精神科神経科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
258	初発統合失調症とハイリスク群における γ 帯域皮質活動異常の包括的解明	平野 羊嗣	精神科神経科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
259	初発統合失調症の γ 帯皮質活動異常の解明	平野 羊嗣	精神科神経科	100 万円	補 第29回ブレインサイエンス振興財団 研究助成
260	網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療臨床研究~GCPに準拠した遺伝子治療臨床研究~	石橋 達朗	眼科	2275 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)
261	新規プラットフォーム技術を用いた眼疾患に対する革新的核酸医薬品の開発	石橋 達朗	眼科	218 万円	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(A-STEP)
262	糖尿病網膜症に対する包括的・画期的治療法の開発	石橋 達朗	眼科	1079 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
263	糖尿病網膜血管透過性亢進に対する病態解明と新しい治療戦略	有田 量一	眼科	297 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
264	網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療の実用化に関する研究~医師主導治験への移行を目指した研究~	池田 康博	眼科	9240 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)
265	緑内障モデル動物を用いた網膜神経節細胞保護遺伝子治療	池田 康博	眼科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦の萌芽研究)
266	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	池田 康博 (分担)	眼科	10 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
267	加齢黄斑変性に対するQOL向上をめざした個別化治療の研究	大島 裕司	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
268	眼内線維血管増殖性疾患の病態究明と治療薬開発	小林 義行	眼科	100 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
269	自然炎症制御を基軸とした網膜自己再生促進	園田 康平	眼科	533 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
270	眼組織基底膜の糖化最終産物検出と生体内における糖化最終産物検出用臨床機器の開発	園田 康平	眼科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦の萌芽研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
271	自己免疫性ぶどう膜炎における摂食抑制ペプチドの機能解析	武田 篤信	眼科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
272	網脈絡膜疾患に対するリンパ管をターゲットとした新しい治療戦略	中尾 新太郎	眼科	334 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
273	増殖組織特徴遺伝子ペリオスチンを標的とした網脈絡膜線維血管増殖組織治療薬開発	中間 崇仁	眼科	80 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
274	視覚障害を及ぼす眼科疾患の危険因子および予防因子の解明:久山町研究	安田 美穂	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
275	増殖組織特徴的遺伝子を標的とした革新的眼内増殖抑制治療戦略の体系的構築	吉田 茂生	眼科	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
276	ペリオスチンを標的とした増殖性網膜硝子体疾患に対する革新的人工抗体の創製	吉田 茂生	眼科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
277	網膜色素変性における慢性炎症機構の解明と新たな治療戦略の確立	吉田 倫子	眼科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
278	64Cuを用いた新たなimmuno-PET/MRI法の確立	本田 浩	放射線科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
279	MRIを用いた慢性血栓塞栓性肺高血圧症の新たな非侵襲的評価法の開発	山崎 誘三	放射線科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
280	PET/MR装置を用いた頸動脈プラークの高解像度ハイブリッドイメージング	渡邊 祐司	放射線科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
281	CESTイメージングによる頭頸部腫瘍の悪性度診断の確立と治療効果予測への応用	神谷 武志	放射線科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
282	酸素強調心臓MRIの撮影法の開発	川波 哲	放射線科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
283	PET/MRIを用いた新たな放射線治療抵抗部位の同定法の開発	馬場 眞吾	放射線科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
284	肝機能および肝線維化のMRIを用いた形態-機能融合診断の確立	高山 幸久	放射線科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
285	CESTに基づく脳腫瘍のMR分子イメージング法の開発と臨床応用	梅尾 理	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
286	MRI微小灌流・拡散定量による脳腫瘍診断への包括的アプローチ	山下 孝二	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
287	超高速三次元計測小型カメラによる高精度放射線治療位置認識システムの開発	中村 和正	放射線部	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
288	新しい高分解能拡散強調像を用いた頭蓋内及び頭頸部病変の診断法の開発	樋渡 昭雄	放射線部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
289	がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	古庄 憲浩 (分担)	総合診療科	900 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
290	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	小田 義直 (分担)	病理診断科・病理部	20 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(革新的がん医療実用化研究事業)
291	網羅的遺伝子解析に基づいた子宮内膜癌の病理形態所見の解明	大石 善丈	病理診断科・病理部	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
292	軟部肉腫におけるSWI/SNF型クロマチン再構成因子発現および治療への応用	孝橋 賢一	病理診断科・病理部	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
293	バイオ3Dプリンターを用いた胆管構造を有する大型肝組織作製法の開発	孝橋 賢一 (分担)	病理診断科・病理部	10 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
294	小児脳腫瘍に対する他施設共同研究による治療開発	孝橋 賢一 (分担)	病理診断科・病理部	30 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(革新的がん医療実用化研究事業)
295	オリジナル抗原HSP105由来ペプチドワクチンのFIIH医師主導治験	孝橋 賢一 (分担)	病理診断科・病理部	600 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)(革新的がん医療実用化研究事業)
296	難治性小児悪性軟部腫瘍におけるFOXMIおよび関連蛋白発現と標的分子としての評価	久田 正昭	病理診断科・病理部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
297	骨髄微小環境を標的にした新たな白血病治療戦略の開発	國崎 祐哉	遺伝子・細胞療法部	100 万円	委 公益財団法人 小林がん学術振興会
298	Single cell解析および3次元イメージングを用いた、白血病の発症、進行を支持する骨髄微小環境因子の同定	國崎 祐哉	遺伝子・細胞療法部	100 万円	委 公益財団法人 SGH財団
299	正常造血幹細胞と白血病幹細胞を支持する異なる骨髄微小環境の同定の研究	國崎 祐哉	遺伝子・細胞療法部	100 万円	委 公益財団法人 安田記念医学財団
300	加齢に伴うニッチ機能変化による発癌機構の解明	國崎 祐哉	遺伝子・細胞療法部	200 万円	委 公益財団法人 武田科学振興財団
301	加齢に伴う骨髄環境の変化による造血器腫瘍発症機構の解明	國崎 祐哉	遺伝子・細胞療法部	100 万円	委 公益財団法人 稲盛財団
302	オプトジェネティック技術を用いた生体イメージングによる造血幹細胞ニッチ内情報伝達の可視化	國崎 祐哉	遺伝子・細胞療法部	150 万円	委 公益財団法人 光科学技術研究振興財団
303	骨髄微小環境の加齢変化と造血器腫瘍発症の関連とそのメカニズムの解明	國崎 祐哉	遺伝子・細胞療法部	150 万円	委 公益財団法人 鈴木謙三記念医科学応用研究財団
304	発達障害の胎児期診断にむけた行動学的アプローチ	諸隈 誠一	総合周産期母子医療センター	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
305	新生児外科の健診モデル構築とトランジション可能な長期フォローアップ電子手帳の開発	木下 義晶	総合周産期母子医療センター	999.7 万円	委 日本医療研究開発機構(AMED)
306	原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究(PID診断班)	高田 英俊 (分担)	総合周産期母子医療センター	100 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
307	MID-NETを用いた医薬品等のベネフィット・リスク評価のためのデータ標準化の普及に関する研究(研究開発提案課題名:MID-NETを用いた医薬品等のベネフィット・リスク評価のための薬剤工学研究等の実践的な分析手法及び教育に関する研究)	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	30410 万円	委 日本医療研究開発機構 (AMED) (医薬品等規制調和・評価研究事業)
308	強化された画像誘導と革新的ロボット技術の融合による画期的低侵襲治療システムの開発	富川 盛雅	先端医工学診療部	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
309	肝星細胞を標的とする革新的ナノドラッグキャリアを用いた画期的肝硬変治療薬の開発	富川 盛雅	先端医工学診療部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
310	バイオマテリアルを用いたレーザー透過溶着法による革新的生体組織接合技術の研究開発	池田 哲夫	先端医工学診療部	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
311	神経芽腫に対する革新的手術シミュレーション・ナビゲーションシステムの開発	宗崎 良太	先端医工学診療部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
312	多元計算解剖学の外科における臨床展開	橋爪 誠	先端医工学診療部	2,379 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
313	医用画像に基づく計算解剖学の多元化と高度知能化診断・治療への展開	橋爪 誠	先端医工学診療部	1,600 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
314	革新的医療機器の有効性又は安全性評価方法確立のための調査研究	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	3,000 万円	補 厚生労働省 革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業
315	橋渡し研究加速ネットワークプログラム「創造的次世代医療実現化を担うAROの構築」	中西 洋一	ARO次世代医療センター	82,142 万円	補 日本医療研究開発機構 (AMED)
316	臨床研究品質確保体制整備事業「次世代に最新最適医療と希望を伝えるAROの構築」	中西 洋一	ARO次世代医療センター	13,195 万円	補 日本医療研究開発機構 (AMED)
317	早期探索的・国際水準臨床研究事業「標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発」	中西 洋一	ARO次世代医療センター	8,177 万円	補 日本医療研究開発機構 (AMED)
318	膀胱癌細胞の浸潤機序-浸潤を先導するleading cellsの同定・解析-	清水 祐紀子	がんセンター	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
319	ペリサイトをターゲットとした腫瘍血管の正常化-膀胱癌の新規治療法開発に向けて-	嶋本 正弥	がんセンター	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
320	学術用超高速インターネットを利用した遠隔医療ネットワークの世界展開	清水 周次	光学医療診療部	819 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究A)
321	アジアにおける早期胃癌診断率向上のための継続的遠隔医療教育システムの構築	清水 周次	光学医療診療部	600 万円	補 日本学術振興会 研究拠点形成事業 アジア・アフリカ学術基盤形成型
322	ヒト乳歯歯髄幹細胞によるヒルシュスプルング病類縁疾患に対する新規再生医療の開発	野中 和明(分担)	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
323	早老症をモデルとした老化制御機構の解明に関する小児歯科的アプローチ	山座 治義	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
324	患者由来歯髄幹細胞を応用した口唇口蓋裂の発症機序の解明と治療法の開発	山座 治義	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
325	セントロメアを染色体上の一カ所に調節する機構の解明	佐藤 浩	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
326	小児外科領域の難治性疾患における脱落乳歯幹細胞を用いた新規治療法の開発	吉丸 耕一郎	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
327	薬剤抵抗性小腸移植片拒絶反応に対する細胞治療法の確立	松浦 俊治	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
328	ミトコンドリア分裂異常からみた老化にともなう象牙芽細胞の機能障害機構の解明	加藤 大樹	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	200 万円	補 武田科学振興財団 医学系研究奨励金
329	ミトコンドリア形態異常による歯の硬組織形成不全の機序解明	加藤 大樹	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	200 万円	補 貝原守一医学振興財団 研究奨励金
330	顎関節の器官構築に向けた3次元器官培養法の開発	高橋 一郎	矯正歯科	377 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
331	陥入上皮の運命決定に関わる制御因子の同定と歯の再生法への応用	吉崎 恵悟	矯正歯科	1,339 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
332	歯根膜組織形成能を有したバイオアクティブレジンの開発	前田 英史	歯内治療科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
333	カルシウム感受容体制御に着目した象牙質修復治療法の開発	前田 英史	歯内治療科	70 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
334	新規覆髄材の開発を目的としたβigh-3の解析	門野内 聡	歯内治療科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
335	臓器固有細胞-浸潤炎症細胞間相互作用から捉える歯周医学の分子基盤	西村 英紀	歯周病科	377 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
336	歯髓細胞由来TNF誘導因子(DPTIF)受容体の探索研究	西村 英紀	歯周病科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
337	M2マクロファージ転換技術を応用した新規歯周組織再生療法の開発	讃井 彰一	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
338	脂質メディエーターによる間葉系幹細胞分化機構の解明と硬組織再生治療への臨床的展開	松崎 英津子	歯周病科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
339	新規アメロジェニン会合蛋白の分子基盤構築による歯周組織再生の創薬標的分子の同定	福田 隆男	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
340	急性炎症の惹起及び収束に関与するエイコサノイドが骨芽細胞に及ぼす影響	平塚 俊志	歯周病科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
341	歯根膜遊走の誘導技術を応用した次世代歯周組織再生治療法の構築	田中 麗	歯周病科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
342	デンタルインターフェイスにおける応力-セルシグナル変換の解明と個性差医療への展開	古谷野 潔	義歯補綴科	1,755 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
343	歯肉由来間葉系幹細胞が有する疾患治療能のアスピリンによる増強	古谷野 潔	義歯補綴科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
344	インプラント補綴の個別最適設計を可能にするMEMSを用いた生体内モニタリング	松下 恭之	義歯補綴科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
345	スプリント治療の効果は睡眠時ブラキシズムの活動強度で異なる	築山 能大	義歯補綴科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
346	補綴歯科臨床における認知行動療法の効果:ランダム化比較試験(RCT)	築山 能大	義歯補綴科	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
347	未分化間葉系幹細胞を用いた力を起因とする歯科疾患の超早期自律診断と予防治療の開発	鮎川 保則	義歯補綴科	676 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
348	磨耗メカニズムを考慮した睡眠時ブラキシズム患者に使用する歯冠修復材料の選択	桑鶴 利香	義歯補綴科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
349	インプラントの細胞骨格制御能に注目したオッセオインテグレーションへのアプローチ	荻野 洋一郎	義歯補綴科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
350	表面改質によるブラックフリーインプラントアパットメントの開発	木原 優文	義歯補綴科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
351	チタンをニッチとしたヒト歯肉由来間葉系幹細胞によるインプラント周囲組織の再生治療	熱田 生	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
352	マイクロクラックから解明するオッセオインテグレーション獲得後の骨リモデリング機構	森山 泰子	義歯補綴科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
353	非熱的不可逆エレクトロポレーションによるインプラント周囲炎の低侵襲治療法	江崎 大輔	義歯補綴科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
354	より強固なインプラント-生体インターフェイスを獲得するための新規表面処理法の開発	古橋 明大	義歯補綴科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
355	fMRIを用いた口腔内外への刺激に対する高次脳活動に関する研究	島田 昂	義歯補綴科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
356	補綴治療が片側臼歯部欠損患者の偏咀嚼に与える影響の検討	山崎 陽	義歯補綴科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
357	マイクロギャップの位置と荷重荷量の違いがインプラント周囲骨の動態に及ぼす影響	松崎 達哉	義歯補綴科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
358	炭酸アパタイト-Tb4に着目した新規骨増生法の開発	染矢 祐孝	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
359	インプラント周囲組織の治癒を促進する新規手法の開拓	安波 礼之	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
360	抗腫瘍T細胞を利用した口腔癌の早期診断法およびオーダーメイド免疫療法の開発	中村 誠司	顎口腔外科	299 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
361	IgG4関連疾患の診断における唾液腺検査の有用性の検討	中村 誠司	顎口腔外科	104 万円	委 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
362	IgG4関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究	中村 誠司	顎口腔外科	50 万円	委 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
363	IgG4関連疾患の病因病態解明と新規治療法確立に関する研究	中村 誠司	顎口腔外科	120 万円	委 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
364	自己免疫疾患に関する調査研究	中村 誠司	顎口腔外科	40 万円	委 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
365	自己免疫疾患のイノベーション研究	中村 誠司	顎口腔外科	100 万円	委 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患政策研究)
366	シェーグレン症候群患者の唾液を用いた新しい診断方法の確立	中村 誠司	顎口腔外科	100 万円	補 私立大学戦略的研究基礎基盤形成事業
367	口腔がん治療により生じる口腔細菌叢の量的・質的変化の次世代シーケンサーによる解析	大部 一成	顎口腔外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
368	上皮間葉転換による口腔癌の浸潤・転移機構の解明-特にZEB1, 2に着目して-	川野 真太郎	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
369	ヘッジホッグ経路抑制によるエナメル上皮腫の新規治療法の探索	光安 岳志	顎口腔外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
370	口腔扁平苔癬の病態形成に関わる免疫細胞ネットワークの解析	林田 淳之介	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
371	口腔癌に発現する新規バイオマーカーRCAS1の機能解析と臨床応用	豊嶋 健史	顎口腔外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
372	新疾患概念「IgG4関連疾患」の病態解明に向けた自然免疫からの新戦略	森山 雅文	顎口腔外科	351 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
373	LH-PCR法と次世代シーケンサーを用いた口腔カンジダ症の新たな診断方法の確立	森山 雅文	顎口腔外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
374	ミクリッツ病/IgG4関連疾患の病態解明および新規分子治療の開発	森山 雅文	顎口腔外科	200 万円	補 武田科学振興財団 医学系奨励
375	IgG4関連疾患の新規標的分子の同定-DNAマイクロアレイによる発現変動遺伝子の網羅的k解析-	森山 雅文	顎口腔外科	25 万円	補 臨床奨励基金 臨床研究助成
376	口腔扁平上皮癌の増殖・転移における腫瘍随伴性マクロファージの関与	森山 雅文	顎口腔外科	10 万円	補 福岡県すこやか健康事業団 がん研究助成金
377	IgG4関連疾患の病態形成における自然免疫担当細胞の関与	森山 雅文	顎口腔外科	25 万円	補 臨床医学新興財団 医学研究資金助成
378	M2マクロファージを標的としたIgG4関連疾患の新規治療	森山 雅文	顎口腔外科	200 万円	補 上原記念生命科学財団 研究奨励金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
379	BRONJ モデルマウスの免疫機能解析と制御性T細胞を応用した予防治療法の開発	梯 裕恵	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
380	MAPK経路を介した口蓋突起上制御機構の解明	松村 香織	顎口腔外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
381	ΔNp63による上皮-間葉転換を介した口腔扁平上皮癌の発生および悪性化機構の解明	松原 良太	顎口腔外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
382	粘膜類天疱瘡とBP180 C末端部との関連検討および新規診断法への応用	安河内 篤	顎口腔外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
383	HTLV-1関連シェーグレン症候群の病態形成におけるヘルパーT細胞の関与	田中 昭彦	顎口腔外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
384	口腔扁平上皮癌新規治療法の確立～サイトケラチン17発現機序の検索～	北村 亮二	顎口腔外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
385	口腔扁平上皮癌におけるΔNp63を介した上皮-間葉転換の浸潤・転移における役割	後藤 雄一	顎口腔外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
386	IgG4関連疾患の病態解明に向けた免疫学的研究-異所性胚中心形成とTh細胞-	前原 隆	顎口腔外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
387	ミクリッツ病(MD)の病態形成におけるM2マクロファージの関与に関する研究	前原 隆	顎口腔外科	20 万円	補 臨床医学新興財団 医学研究資金助成
388	口腔癌の転移に関与する分泌型RCAS1の機能解析	田中 秀明	顎口腔外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
389	IgG4関連涙腺・唾液腺炎における自然免疫細胞を介した病因・病態の解明	古川 祥子	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
390	下顎非対称患者における咀嚼筋の分子病理学的検討	山田 朋弘	顔面口腔外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
391	歯原性腫瘍におけるカルシウム感受性受容体の解析と新規治療の開発へ向けた研究	窪田 泰孝	顔面口腔外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
392	癌幹細胞の特性から口腔癌早期診断・転移抑制を可能にする遺伝子配送システムの開発	石井 広太郎	顔面口腔外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
393	骨再生への新しいアプローチ -炭酸リチウム局所投与が骨形成促進に与える影響-	佐々木 匡理	顔面口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
394	唾液腺癌における抗癌剤耐性分子機構の解明と新規分子標的治療薬の開発	小野田 よしみ	顔面口腔外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
395	ID family分化抑制因子による唾液腺癌細胞における浸潤・転移制御機構の解明	住田 知樹	顔面口腔外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
396	歯科用コーンビームCTの画質に基づく参照線量レベルの構築	吉浦 一紀	口腔画像診断科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
397	顎顔面部における可動性蛋白質/ペプチドの化学交換イメージングの検討	筑井 徹	口腔画像診断科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
398	シェーグレン症候群国際診断基準への超音波診断導入のための基礎的研究	清水 真弓	口腔画像診断科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
399	頭頸部触診シミュレーションシステムの開発	岡村 和俊	口腔画像診断科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
400	D T TおよびA S Lを用いた摂食時における脳内活動ネットワークシステムの探索	加美 由紀子	口腔画像診断科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
401	歯根膜幹細胞誘導による組織再生を基盤とした包括的歯内疾患治療法の開発	和田 尚久	口腔総合診療科	351 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
402	新規改良型TRDのダウン症に合併した重度閉塞型睡眠無呼吸難症例に対する臨床応用	津田 緩子	口腔総合診療科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
403	唾液を用いたシェーグレン症候群の診断および重症度分類法の確立	大山 恵子	口腔総合診療科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
404	Porphyromonas gingivalis is involved in the detachment and aggregation of Aggregatibacter actinomycetemcomitans biofilm.	原口 晃	口腔総合診療科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
405	セマフォリン3Aと歯髄幹細胞を用いた新規象牙質/歯髄複合体再生直接覆髄法の開発	和田 尚久	口腔総合診療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
406	造血幹細胞移植患者の口腔内細菌叢の変化が粘膜障害に与える影響の解明	林 恵美	全身管理歯科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
407	エナメル上皮種における奇異な形態変化・骨吸収機構の解明	今井 裕子	全身管理歯科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
408	mTOR阻害薬の非侵襲薬効評価系としての尿中LC3定量評価システムの開発	増田 智先	薬剤部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
409	免疫抑制薬の副作用に着目した慢性移植腎症の分子機構解明と非侵襲マーカーの探索	増田 智先	薬剤部	505 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
410	うつおよび糖尿病を考慮したがん治療法における疼痛制御に関する薬理学的研究	江頭 伸昭	薬剤部	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
411	薬剤性腎障害における尿中バイオマーカーの調節分子機構の解明と臨床応用に関する研究	矢野 貴久	薬剤部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
412	腎機能評価に基づく癌骨転移治療薬による副作用の早期発見と対策法の開発	池末 裕明	薬剤部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
413	新規抗MRSA薬におけるTDMの有用性評価と至適投与のためのノモグラムの構築	山田 孝明	薬剤部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
414	無菌調製技術の均てん化を目的とした地域医療連携プログラムの開発	月野木 祥子	薬剤部	60 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
415	非定型抗精神病薬アリピプラソールの忍容性に影響を与える薬物相互作用に関する研究	有村 洋平	薬剤部	60 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（奨励研究）
416	非ビタミンK拮抗経口抗凝固薬による出血性副作用回避に向けた危険性評価法の確立	大森 開	薬剤部	50 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（奨励研究）
417	造血幹細胞移植における腎障害の重篤化回避に向けた評価法の確立と危険因子の解明	末次 王卓	薬剤部	60 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（奨励研究）
418	病棟薬剤師が行う医薬品情報提供の信頼性向上と情報の共有化に向けた研究	永田 健一郎	薬剤部	60 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（奨励研究）
419	がん骨転移治療におけるゾレドロン酸誘発腎障害の早期発見と処方支援策の評価	秦 晃二郎	薬剤部	60 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（奨励研究）
420	国際医療テレカンファレンス実施のための連携支援オンラインデータベースの構築	工藤 孔梨子	国際医療部	160 万円	補 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

合計 420 件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑 誌 名
1	瓜生 英尚	第一内科	α -Mannan induces Th17-mediated pulmonary graft-versus-host disease in mice.	Blood. 2015 May ;125(19):3014-23.
2	綾野 雅宏	第一内科	Increased CD226 Expression on CD8+ T Cells Is Associated with Upregulated Cytokine Production and Endothelial Cell Injury in Patients with Systemic Sclerosis.	J Immunol. 2015 Aug 1;195(3):892-900.
3	下田 慎治	第一内科	Natural killer cells regulate T cell immune responses in primary biliary cirrhosis.	Hepatology. 2015 Dec;62(6):1817-27.
4	野波 篤	第一内科	Identification of novel therapeutic targets in acute leukemias with NRAS mutations using a pharmacologic approach.	Blood. 2015 May 14;125(20):3133-43.
5	Chatterjee S	第二内科	Type 2 Diabetes as a Risk Factor for Dementia in Women Compared With Men: A Pooled Analysis of 2.3 Million People Comprising More Than 100,000 Cases of Dementia.	Diabetes Care. 2016 Feb;39(2):300-7.
6	He L.	第二内科	Impact of classical risk factors of type 2 diabetes among Asian Indian, Chinese and Japanese populations.	Diabetes Metab. 2015 Nov;41(5):401-9.
7	Kang A	第二内科	Interventions for lowering plasma homocysteine levels in kidney transplant recipients.	Cochrane Database Syst Rev. 2015 May 4;(5)
8	Liyanaige T	第二内科	Worldwide access to treatment for end-stage kidney disease: a systematic review.	Lancet. 2015 May 16;385(9981):1975-82.
9	Shiwa Y	第二内科	Adjustment of Cell-Type Composition Minimizes Systematic Bias in Blood DNA Methylation Profiles Derived by DNA Collection Protocols.	PLoS One. 2016 Jan 22;11(1):e0147519.
10	Wang AY,	第二内科	Health-related quality of life in survivors of acute kidney injury: The Prolonged Outcomes Study of the Randomized Evaluation of Normal versus Augmented Level Replacement Therapy study outcomes.	Nephrology (Carlton). 2015 Jul;20(7):492-8.
11	岸本 裕歩	第二内科	The long-term association between physical activity and risk of dementia in the community: the Hisayama Study.	Eur J Epidemiol. 2016 Mar;31(3):267-74.
12	清原 裕	第二内科	Effects of diabetes definition on global surveillance of diabetes prevalence and diagnosis: a pooled analysis of 96 population-based studies with 331,288 participants.	Lancet Diabetes Endocrinol. 2015 Aug;3(8):624-37.
13	後藤 聖司	第二内科	Hematocrit and the risk of cardiovascular disease in a Japanese community: The Hisayama Study.	Atherosclerosis. 2015 Sep;242(1):199-204.
14	中村宇大	第二内科	Association of severe hypoglycemia with depressive symptoms in patients with type 2 diabetes: the Fukuoka Diabetes Registry	BMJ Open Diabetes Research & Care:2015 3(1)
15	中村宇大	第二内科	Association of Genetically Determined Aldehyde Dehydrogenase 2 Activity with Diabetic Complications in Relation to Alcohol Consumption in Japanese Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: The Fukuoka Diabetes Registry.	PLoS One. 2015 Nov 23;10(11):e0143288.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
16	藤原 康太	第二内科	Insulin Resistance Is a Risk Factor for Increased Intraocular Pressure: The Hisayama Study.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2015 Dec;56(13):7983-7.
17	向井 直子	第二内科	Association of hemoglobin A1c and glycated albumin with carotid atherosclerosis in community-dwelling Japanese subjects: the Hisayama Study.	Cardiovasc Diabetol. 2015 Jun 24;14:84.
18	安野 広三	第二内科	Paternal and maternal bonding styles in childhood are associated with the prevalence of chronic pain in a general adult population: the Hisayama Study.	BMC Psychiatry. 2015 Jul 31;15:181.
19	永井 雅人	第二内科	Secular trends of the impact of overweight and obesity on hypertension in Japan, 1980-2010.	Hypertens Res. 2015 Nov;38(11):798.
20	奥田 奈賀子	第二内科	Fruit and vegetable intake and mortality from cardiovascular disease in Japan: a 24-year follow-up of the NIPPON DATA80 Study.	Eur J Clin Nutr. 2015 Apr;69(4):482-8.
21	久松 隆史	第二内科	Long-term outcomes associated with prolonged PR interval in the general Japanese population.	Int J Cardiol. 2015 Apr 1;184:291-3.
22	近藤 英樹	第二内科	Angiotensin I-converting enzyme gene polymorphism enhances the effect of hypercholesterolemia on the risk of coronary heart disease in a general Japanese population: the hisayama study.	J Atheroscler Thromb. 2015;22(4):390-403.
23	杉山 大典	第二内科	Risk of hypercholesterolemia for cardiovascular disease and the population attributable fraction in a 24-year Japanese cohort study.	J Atheroscler Thromb. 2015;22(1):95-107.
24	大隈 俊明	第二内科	Association between eating rate and obesity: a systematic review and meta-analysis.	Int J Obes (Lond). 2015 Nov;39(11):1589-96.
25	竹下 徹	第二内科	Bacterial diversity in saliva and oral health-related conditions: the Hisayama Study.	Sci Rep. 2016 Feb 24;6:22164.
26	鶴屋 和彦	第二内科	Impact of the Triglycerides to High-Density Lipoprotein Cholesterol Ratio on the Incidence and Progression of CKD: A Longitudinal Study in a Large Japanese Population.	Am J Kidney Dis. 2015 Dec;66(6):972-83.
27	鶴屋 和彦	第二内科	Clinical Significance of Fronto-Temporal Gray Matter Atrophy in Executive Dysfunction in Patients with Chronic Kidney Disease: The VCOHP Study.	PLoS One. 2015 Dec 3;10(12):e0143706.
28	梅本 誠治	第二内科	Effects of calcium channel blocker-based combinations on intra-individual blood pressure variability: post hoc analysis of the COPE trial.	Hypertens Res. 2016 Jan;39(1):46-53.
29	梅野 淳嗣	第二内科	A Hereditary Enteropathy Caused by Mutations in the SLCO2A1 Gene, Encoding a Prostaglandin Transporter.	PLoS Genet. 2015 Nov 5;11(11):e1005581.
30	福山 聡	第二内科	Prevalence of Airflow Limitation Defined by Pre- and Post-Bronchodilator Spirometry in a Community-Based Health Checkup: The Hisayama Study.	Tohoku J Exp Med. 2016;238(2):179-84.
31	平野 篤	第二内科	A genome-wide association study of late-onset Alzheimer's disease in a Japanese population.	Psychiatr Genet. 2015 Aug;25(4):139-46.
32	中村 和彦	第三内科	Suitability of the expanded indication criteria for the treatment of early gastric cancer by endoscopic submucosal dissection: Japanese multicenter large-scale retrospective analysis of short- and long-term outcomes.	Scand J Gastroenterol. 2015 Apr;50(4):413-22.

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑 誌 名
33	伊原 栄吉	第三内科	Trypsin-induced biphasic regulation of tone in the porcine lower esophageal sphincter.	Eur J Pharmacol. 2015 Apr 5;752:97-105.
34	伊藤 鉄英	第三内科	Imaging in multiple endocrine neoplasia type 1: recent studies show enhanced sensitivities but increased controversies.	Int J Endocr Oncol. 2016;3(1):53-66.
35	伊藤 鉄英	第三内科	Highlights of topic "Pancreatic neuroendocrine tumors update".	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015 Aug;22(8):573.
36	伊藤 鉄英	第三内科	Pulmonary neuroendocrine (carcinoid) tumors: European Neuroendocrine Tumor Society expert consensus and recommendations for best practice for typical and atypical pulmonary carcinoids.	Ann Oncol. 2015 Aug;26(8):1604-20.
37	木村 真一郎	第三内科	A novel DPP-4 inhibitor teneligliptin scavenges hydroxyl radicals: In vitro study evaluated by electron spin resonance spectroscopy and in vivo study using DPP-4 deficient rats.	Metabolism. 2016 Mar;65(3):138-45.
38	井上 智彰	第三内科	GLP-1 analog liraglutide protects against cardiac steatosis, oxidative stress and apoptosis in streptozotocin-induced diabetic rats.	Atherosclerosis. 2015 May;240(1):250-9.
39	喜安 純一	第三内科	Expression of programmed cell death ligand 1 is associated with poor overall survival in patients with diffuse large B-cell lymphoma.	Blood. 2015 Nov 5;126(19):2193-201.
40	土師 正二郎	第三内科	Administration of an anti-CC chemokine receptor 4 monoclonal antibody, mogamulizumab, before allogeneic bone marrow transplantation for adult T-cell leukemia/lymphoma.	Bone Marrow Transplant. 2016 Mar;51(3):432-4.
41	王 麗華	第三内科	Disruption of mitochondrial fission in the liver protects mice from diet-induced obesity and metabolic deterioration.	Diabetologia. 2015 Oct;58(10):2371-80.
42	永野 純	心療内科	Life events, emotional responsiveness, and the functional prognosis of patients with rheumatoid arthritis.	Biopsychosoc Med. 2015 Jun 23;9:15.
43	澤本 良子	心療内科	Predictors of Dropout by Female Obese Patients Treated with a Group Cognitive Behavioral Therapy to Promote Weight Loss.	Obes Facts. 2016;9(1):29-38.
44	岡 孝和	心療内科	Psychogenic fever: how psychological stress affects body temperature in the clinical population.	Temperature (Austin). 2015 Jun 3;2(3):368-78.
45	森田 千尋	心療内科	Gut Dysbiosis in Patients with Anorexia Nervosa.	PLoS One. 2015 Dec 18;10(12):e0145274.
46	千々岩 武陽	心療内科	Prior chronic stress induces persistent polyI:C-induced allodynia and depressive-like behavior in rats: Possible involvement of glucocorticoids and microglia.	Physiol Behav. 2015 Aug 1;147:264-73.
47	新谷 里	神経内科	Copy number variations in multiple sclerosis and neuromyelitis optica.	Ann Neurol. 2015 Nov;78(5):762-74.
48	新谷 里	神経内科	Latitude and HLA-DRB1 alleles independently affect the emergence of cerebrospinal fluid IgG abnormality in multiple sclerosis.	Mult Scler. 2015 Aug;21(9):1112-20.
49	Song ZY	神経内科	Peripheral blood T cell dynamics predict relapse in multiple sclerosis patients on fingolimod.	PLoS One. 2015 Apr 28;10(4):e0124923.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
50	田中 浩次	神経内科	Pure dysarthria and dysarthria-facial paresis syndrome due to internal capsule and/or corona radiata infarction.	BMC Neurol. 2015 Oct 7;15:184.
51	田中 浩次	神経内科	Pre-admission CHADS2, CHA2DS2-VASc, and R2CHADS2 Scores on Severity and Functional Outcome in Acute Ischemic Stroke with Atrial Fibrillation.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2015 Jul;24(7):1629-35.
52	土井 光	神経内科	Analysis of cerebral lobar microbleeds and a decreased cerebral blood flow in a memory clinic setting.	Intern Med. 2015;54(9):1027-33.
53	緒方 英典	神経内科	Characterization of IgG4 anti-neurofascin 155 antibody-positive polyneuropathy.	Ann Clin Transl Neurol. 2015 Oct;2(10):960-71.
54	細川 和也	循環器内科	Negative acute hemodynamic response to balloon pulmonary angioplasty does not predicate the long-term outcome in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Int J Cardiol. 2015 Jun 1;188:81-3.
55	細川 和也	循環器内科	Balloon pulmonary angioplasty-related complications and therapeutic strategy in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Int J Cardiol. 2015 Oct 15;197:224-6.
56	池田 昌隆	循環器内科	The Akt-mTOR axis is a pivotal regulator of eccentric hypertrophy during volume overload.	Sci Rep. 2015 Oct 30;5:15881.
57	藤野 剛雄	循環器内科	FDG-PET/CT for driveline infection in a patient with implantable left ventricular assist device.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2016 Jan;17(1):23.
58	坂本 隆史	循環器内科	Prediction of the impact of venoarterial extracorporeal membrane oxygenation on hemodynamics.	Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2015 Apr 15;308(8):H921-30.
59	坂本 隆史	循環器内科	Baroreflex failure increases the risk of pulmonary edema in conscious rats with normal left ventricular function.	Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2016 Jan 15;310(2):H199-205.
60	藤井 亜希子	呼吸器科	Hypermethylation of the CpG dinucleotide in epidermal growth factor receptor codon 790: implications for a mutational hotspot leading to the T790M mutation in non-small-cell lung cancer.	Cancer Genet. 2015 May;208(5):271-8.
61	大田 恵一	呼吸器科	Induction of PD-L1 Expression by the EML4-ALK Oncoprotein and Downstream Signaling Pathways in Non-Small Cell Lung Cancer.	Clin Cancer Res. 2015 Sep 1;21(17):4014-21.
62	岩間 映二	呼吸器科	Highly sensitive and quantitative evaluation of the EGFR T790M mutation by nanofluidic digital PCR.	Oncotarget. 2015 Aug 21;6(24):20466-73.
63	山本 悠造	呼吸器科	Severe acute interstitial lung disease in a patient with anaplastic lymphoma kinase rearrangement-positive non-small cell lung cancer treated with alectinib.	Invest New Drugs. 2015 Oct;33(5):1148-50.
64	坪内 和哉	呼吸器科	Spontaneous improvement of laryngeal sarcoidosis resistant to systemic corticosteroid administration.	Respirol Case Rep. 2015 Sep;3(3):112-4.
65	米嶋 康臣	呼吸器科	Infected complex renal cysts during crizotinib therapy in a patient with non-small cell lung cancer positive for ALK rearrangement.	Invest New Drugs. 2015 Apr;33(2):510-2.
66	米嶋 康臣	呼吸器科	Successful treatment with alectinib after crizotinib-induced esophageal ulceration.	Lung Cancer. 2015 Jun;88(3):349-51.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
67	石井 由美子	呼吸器科	Leukotriene B4 receptor type 2 (BLT2) enhances skin barrier function by regulating tight junction proteins.	FASEB J. 2016 Feb;30(2):933-47.
68	柳原 豊史	呼吸器科	Intronic regulation of Aire expression by Jmjd6 for self-tolerance induction in the thymus.	Nat Commun. 2015 Nov 4;6:8820.
69	園田 顕三	産科婦人科	Retrospective Analysis of Concurrent Chemoradiation with Triweekly Cisplatin plus 5-Fluorouracil Versus Weekly Cisplatin in Cervical Cancer.	Anticancer Res. 2015 Jun;35(6):3447-54.
70	山根 敬子	産科婦人科	Identification of the Critical Site of Calponin 1 for Suppression of Ovarian Cancer Properties.	Anticancer Res. 2015 Nov;35(11):5993-9.
71	浅野間 和夫	産科婦人科	Regulation of the Mechanism of TWIST1 Transcription by BHLHE40 and BHLHE41 in Cancer Cells.	Mol Cell Biol. 2015 Dec;35(24):4096-109.
72	今村 紘子	産科婦人科	Ovarian high-grade serous carcinoma with a noninvasive growth pattern simulating a serous borderline tumor.	Hum Pathol. 2015 Oct;46(10):1455-63.
73	大丸 貴子	産科婦人科	Placental elasticity evaluation using virtual touch tissue quantification during pregnancy.	Placenta. 2015 Aug;36(8):915-20.
74	蜂須賀 正紘	産科婦人科	Hyperglycemia impairs left-right axis formation and thereby disturbs heart morphogenesis in mouse embryos.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2015 Sep 22;112(38):E5300-7.
75	佐藤 由佳	産科婦人科	Incidences of Feto-Fetal Transfusion Syndrome and Perinatal Outcomes in Triplet Gestations with Monochorionic Placentation.	Fetal Diagn Ther. 2016 Jan 14.
76	井原 健二	小児科	The First Nationwide Survey and Genetic Analyses of Bardet-Biedl Syndrome in Japan.	PLoS One. 2015 Sep 1;10(9):e0136317.
77	井原 健二	小児科	TYK2 Promoter Variant and Diabetes Mellitus in the Japanese.	EBioMedicine. 2015 May 9;2(7):744-9.
78	落合 正行	小児科	Neurological outcomes in Chiari type II malformations and their correlation to morphological findings and fetal heart rate patterns: a retrospective study.	BMC Res Notes. 2015 Feb 27;8:57.
79	神野 俊介	小児科	Memory B-Cell Pools Predict the Immune Response to Pneumococcal Conjugate Vaccine in Immunocompromised Children.	J Infect Dis. 2016 Mar 1;213(5):848-55.
80	古賀 友紀	小児科	Treatment of pediatric lymphoma in Japan: Current status and plans for the future.	Pediatr Int. 2015 Aug;57(4):523-34.
81	酒井 康成	小児科	Moyamoya disease susceptibility gene RNF213 links inflammatory and angiogenic signals in endothelial cells.	Sci Rep. 2015 Aug 17;5:13191.
82	酒井 康成	小児科	Phenotypic spectrum of GNAO1 variants: epileptic encephalopathy to involuntary movements with severe developmental delay.	Eur J Hum Genet. 2016 Jan;24(1):129-34.
83	實藤 雅文	小児科	Relieving pain and distress during venipuncture: Pilot study of the Japan Environment and Children's Study (JECS).	Pediatr Int. 2015 Oct;57(5):1044-7.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
84	高田 英俊	小児科	Wiskott-Aldrich syndrome in a girl caused by heterozygous WASP mutation and extremely skewed X-chromosome inactivation: a novel association with maternal uniparental isodisomy 6.	Neonatology. 2015;107(3):185-90.
85	高田 英俊	小児科	BTK gene targeting by homologous recombination using a helper-dependent adenovirus/adeno-associated virus hybrid vector.	Gene Ther. 2016 Feb;23(2):205-13.
86	西尾 壽乗	小児科	The uselessness of procalcitonin in the diagnosis of focal bacterial central nervous system infection.	J Infect Chemother. 2015 Aug;21(8):620-2.
87	西尾 壽乗	小児科	Identification of Pathogenic Cardiac CD11c+ Macrophages in Nod1-Mediated Acute Coronary Arteritis.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2015 Jun;35(6):1423-33.
88	Cases AI	第一外科	Significance of expression of glucagon-like peptide 1 receptor in pancreatic cancer.	Oncol Rep. 2015 Oct;34(4):1717-25.
89	Wei S	第一外科	Active Pin1 is a key target of all-trans retinoic acid in acute promyelocytic leukemia and breast cancer.	Nat Med. 2015 May;21(5):457-66.
90	Zheng B	第一外科	TM4SF1 as a prognostic marker of pancreatic ductal adenocarcinoma is involved in migration and invasion of cancer cells.	Int J Oncol. 2015 Aug;47(2):490-8.
91	秋吉 高志	第一外科	Indications for Lateral Pelvic Lymph Node Dissection Based on Magnetic Resonance Imaging Before and After Preoperative Chemoradiotherapy in Patients with Advanced Low-Rectal Cancer.	Ann Surg Oncol. 2015 Dec;22 Suppl 3:S614-20.
92	秋吉 高志	第一外科	Laparoscopic salvage lateral pelvic lymph node dissection for locally recurrent rectal cancer.	Colorectal Dis. 2015 Oct;17(10):O213-6.
93	秋吉 高志	第一外科	Technical feasibility of laparoscopic extended surgery beyond total mesorectal excision for primary or recurrent rectal cancer.	World J Gastroenterol. 2016 Jan 14;22(2):718-26.
94	植木 隆	第一外科	Laparoscopic en bloc excision of gastrointestinal stromal tumors of the rectum after neoadjuvant imatinib therapy: anteriorly extended intersphincteric resection combined with partial resection of the prostate.	Tech Coloproctol. 2015 Apr;19(4):247-51.
95	植木 隆	第一外科	Perioperative FOLFOX4 plus bevacizumab for initially unresectable advanced colorectal cancer (NAVIGATE-CRC-01).	Onco Targets Ther. 2015 May 18;8:1111-8.
96	植木 隆	第一外科	Surgery for synchronous colorectal cancers with double colonic anastomoses: A comparison of laparoscopic and open approaches.	Asian J Endosc Surg. 2015 Nov;8(4):429-33.
97	植木 隆	第一外科	Prognostic Impact of Distribution of Lymph Node Metastases in Stage III Colon Cancer.	World J Surg. 2015 Dec;39(12):3008-15.
98	植木 隆	第一外科	Prognostic Impact of Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio in Patients with Advanced Low Rectal Cancer Treated with Preoperative Chemoradiotherapy.	Dig Surg. 2015;32(6):496-503.
99	植木 隆	第一外科	Reduced-port laparoscopic restorative proctocolectomy without diverting ileostomy.	Asian J Endosc Surg. 2015 Nov;8(4):487-90.
100	大内田 研宙	第一外科	Inhibition of the oxygen sensor PHD2 in the liver improves survival in lactic acidosis by activating the Cori cycle.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2015 Sep 15;112(37):11642-7.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
101	大内田 研宙	第一外科	HHypoxic stellate cells of pancreatic cancer stroma regulate extracellular matrix fiber organization and cancer cell motility.	Cancer Lett. 2016 Mar 28;372(2):210-8.
102	大塚 隆生	第一外科	Long-term outcomes after total pancreatectomy: special reference to survivors' living conditions and quality of life.	World J Surg. 2015 May;39(5):1231-9.
103	大塚 隆生	第一外科	Predictors and Diagnostic Strategies for Early-Stage Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: A Retrospective Study.	Pancreas. 2015 Oct;44(7):1148-54.
104	鬼塚 哲	第一外科	Greater curvature myotomy is a safe and effective modified technique in per-oral endoscopic myotomy (with videos).	Gastrointest Endosc. 2015;81(6):1370-7.
105	北田 秀久	第一外科	Living donor kidney transplantation preceding pancreas transplantation reduces mortality in type 1 diabetics with end-stage renal disease.	Transplant Proc. 2015 Apr;47(3):733-7.
106	久保 真	第一外科	Utility of adaptive control processing for the interpretation of digital mammograms.	Acta Radiol. 2015 May 20.
107	佐藤 典宏	第一外科	Single-incision laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis: A retrospective cohort study of 52 consecutive patients.	Int J Surg. 2015 May;17:48-53.
108	仲田 興平	第一外科	Outcomes of Cervical End-to-Side Triangulating Esophagogastric Anastomosis with Minimally Invasive Esophagectomy.	World J Surg. 2015 May;39(5):1099-104.
109	中村 雅史	第一外科	Multi-layered intra-abdominal adhesion prophylaxis following laparoscopic colorectal surgery.	Surg Endosc. 2015 Jun;29(6):1400-5.
110	中村 雅史	第一外科	A new oval multichannel port to facilitate reduced port distal gastrectomy.	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2015 Jun;24(3):135-40.
111	沖 英次	第二外科	Erratum to: Phase II Trial of S-1 and Oxaliplatin Plus Cetuximab for Colorectal Cancer Patients with Initially Unresectable or Not Optimally Resectable Liver Metastases (KSCC1002).	Ann Surg Oncol. 2015 Dec;22 Suppl 3:S1617.
112	由茅 隆文	第二外科	Indocyanine Green Fluorescence Angiography for Quantitative Evaluation of Gastric Tube Perfusion in Patients Undergoing Esophagectomy.	J Am Coll Surg. 2015 Aug;221(2):e37-42.
113	内山 秀昭	第二外科	Pancreatic Transection Using Tape Sling and Ultrasonic Aspirator Dissection Technique in Pancreaticoduodenectomy and Distal Pancreatectomy.	J Am Coll Surg. 2015 Nov;221(5):e91-5.
114	川中 博文	第二外科	Laparoscopic Splenectomy with Technical Standardization and Selection Criteria for Standard or Hand-Assisted Approach in 390 Patients with Liver Cirrhosis and Portal Hypertension.	J Am Coll Surg. 2015 Aug;221(2):354-66.
115	栗原 健	第二外科	Indocyanine Green Fluorescent Imaging for Hepatic Resection of the Right Hepatic Vein Drainage Area.	J Am Coll Surg. 2015 Sep;221(3):e49-53.
116	二宮 瑞樹	第二外科	Functional assessment of the liver with gadolinium-ethoxybenzyl-diethylenetriamine penta-acetate-enhanced MRI in living-donor liver transplantation.	Br J Surg. 2015 Jul;102(8):944-51.
117	山下 洋市	第二外科	Surgical results for recurrent hepatocellular carcinoma after curative hepatectomy: Repeat hepatectomy versus salvage living donor liver transplantation.	Liver Transpl. 2015 Jul;21(7):961-8.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
118	赤崎 幸穂	整形外科	Transthyretin deposition in articular cartilage: a novel mechanism in the pathogenesis of osteoarthritis.	Arthritis Rheumatol. 2015 May;67(8):2097-107.
119	秋山 美緒	整形外科	Prevalence of dyslipidemia in Japanese patients with rheumatoid arthritis and effects of atorvastatin treatment.	Clin Rheumatol. 2015 Nov;34(11):1867-75.
120	大崎 幹仁	整形外科	Asymmetry in Femoral Tunnel Socket Length During Anterior Cruciate Ligament Reconstruction With Transportal, Outside-In, and Modified Transtibial Techniques.	Arthroscopy. 2015 Dec;31(12):2365-70.
121	大崎 幹仁	整形外科	Characterization of Biochemical Cartilage Change After Anterior Cruciate Ligament Injury Using T1 ρ Mapping Magnetic Resonance Imaging.	Orthop J Sports Med. 2015 May 13;3(5):2325967115585092.
122	岡崎 賢	整形外科	Subclinical cartilage degeneration in young athletes with posterior cruciate ligament injuries detected with T1 ρ magnetic resonance imaging mapping.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2015 Oct;23(10):3094-100.
123	岡本 重敏	整形外科	Effect of Tibial Posterior Slope on Knee Kinematics, Quadriceps Force, and Patellofemoral Contact Force After Posterior-Stabilized Total Knee Arthroplasty.	J Arthroplasty. 2015 Aug;30(8):1439-43.
124	岡本 重敏	整形外科	Two-dimensional planning can result in internal rotation of the femoral component in total knee arthroplasty.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2016 Jan;24(1):229-35.
125	桑島 海人	整形外科	Comparison of the impact of closing wedge versus opening wedge high tibial osteotomy on proximal tibial deformity and subsequent revision to total knee arthroplasty.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2016 Mar 26.
126	桑島 海人	整形外科	Correction of coronal alignment correlates with reconstruction of joint height in unicompartmental knee arthroplasty.	Bone Joint Res. 2015 Aug;4(8):128-33.
127	櫻庭 康司	整形外科	Brief report: successful in vitro culture of rheumatoid arthritis synovial tissue explants at the air-liquid interface.	Arthritis Rheumatol. 2015 Apr;67(4):887-92.
128	田代 泰隆	整形外科	Evaluating the distance between the femoral tunnel centers in anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction using a computer simulation.	Open Access J Sports Med. 2015 Jun 25;6:219-24.
129	土井 俊郎	整形外科	A new sagittal parameter to estimate pelvic tilt using the iliac cortical density line and iliac tilt: a retrospective X-ray measurement study.	J Orthop Surg Res. 2015 Jul 22;10:115.
130	中原 寛之	整形外科	Does knee stability in the coronal plane in extension affect function and outcome after total knee arthroplasty?	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2015 Jun;23(6):1693-8.
131	中原 寛之	整形外科	Rotational alignment of the tibial component affects the kinematic rotation of a weight-bearing knee after total knee arthroplasty.	Knee. 2015 Jun;22(3):201-5.
132	西川 和孝	整形外科	Accuracy of Proximal Tibial Bone Cut Using Anterior Border of Tibia as Bony Landmark in Total Knee Arthroplasty.	J Arthroplasty. 2015 Dec;30(12):2121-4.
133	畑野 美穂子	整形外科	Cadherin-11 regulates the metastasis of Ewing sarcoma cells to bone.	Clin Exp Metastasis. 2015 Aug;32(6):579-91.
134	花田 麻須大	整形外科	Non-anatomical reconstruction of lateral ulnar collateral ligament of the elbow after tumor resection.	Strategies Trauma Limb Reconstr. 2015 Nov;10(3):195-9.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
135	濱井 敏	整形外科	Continuous sagittal radiological evaluation of stair-climbing in cruciate-retaining and posterior-stabilized total knee arthroplasties using image-matching techniques.	J Arthroplasty. 2015 May;30(5):864-9.
136	濱井 敏	整形外科	Mid-term clinical results of primary total knee arthroplasty using metal block augmentation and stem extension in patients with rheumatoid arthritis.	BMC Musculoskelet Disord. 2015 Aug 27;16:225.
137	松本 嘉寛	整形外科	Malignant peripheral nerve sheath tumors presenting as spinal dumbbell tumors: clinical outcomes and characteristic imaging features.	Eur Spine J. 2015 Oct;24(10):2119-25.
138	松本 嘉寛	整形外科	Scoliosis in patients with multiple hereditary exostoses.	Eur Spine J. 2015 Jul;24(7):1568-73.
139	水内 秀城	整形外科	Patient-specific computer model of dynamic squatting after total knee arthroplasty.	J Arthroplasty. 2015 May;30(5):870-4.
140	村上 剛史	整形外科	In vivo kinematics of healthy male knees during squat and golf swing using image-matching techniques.	Knee. 2016 Mar;23(2):221-6.
141	飯原 弘二	脳神経外科	Maternal Death Due to Stroke Associated With Pregnancy-Induced Hypertension.	Circ J. 2015;79(8):1695-6.
142	飯原 弘二	脳神経外科	Comprehensive Stroke Care Capabilities in Japan: A Neurovascular Surgeon's Perspective.	Neurosurgery. 2015 Aug;62 Suppl 1:107-16.
143	黒木 亮太	脳神経外科	Upregulation of tissue inhibitor of metalloproteinase-1 contributes to restoration of the extracellular matrix in the rabbit basilar artery during cerebral vasospasm after subarachnoid hemorrhage.	Brain Res. 2015 Aug 7;1616:26-36.
144	橋口 公章	脳神経外科	Clinical Significance of Prenatal and Postnatal Heavily T2-Weighted Magnetic Resonance Images in Patients with Myelomeningocele.	Pediatr Neurosurg. 2015;50(6):310-20.
145	村田 秀樹	脳神経外科	Detection of proneural/mesenchymal marker expression in glioblastoma: temporospatial dynamics and association with chromatin-modifying gene expression.	J Neurooncol. 2015 Oct;125(1):33-41.
146	室田 浩之	皮膚科	Characterization of socioeconomic status of Japanese patients with atopic dermatitis showing poor medical adherence and reasons for drug discontinuation.	J Dermatol Sci. 2015 Sep;79(3):279-87.
147	Ming-Chieh Li	皮膚科	Mortality after exposure to polychlorinated biphenyls and polychlorinated dibenzofurans: a meta-analysis of two highly exposed cohorts.	Int J Cancer. 2015 Sep 15;137(6):1427-32.
148	Shiratori-Hayashi M	皮膚科	STAT3-dependent reactive astrogliosis in the spinal dorsal horn underlies chronic itch.	Nat Med. 2015 Aug;21(8):927-31.
149	Zhouwei Wu	皮膚科	Z-ligustilide ameliorated ultraviolet B-induced oxidative stress and inflammatory cytokine production in human keratinocytes through upregulation of Nrf2/HO-1 and suppression of NF- κ B pathway.	Exp Dermatol. 2015 Sep;24(9):703-8.
150	伊藤 絵里子	皮膚科	Injury-induced acquired dermal melanocytosis arising on an operation scar.	J Dermatol. 2015 Apr;42(4):434-5.
151	伊東 孝通	皮膚科	Onychopapilloma manifesting longitudinal melanonychia: A mimic of subungual malignancy.	J Dermatol. 2015 Dec;42(12):1199-201.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
152	伊東孝通	皮膚科	Linear and Whorled Nevoid Hypermelanosis With Tetralogy of Fallot.	Indian J Dermatol. 2015 May-Jun;60(3):325.
153	隈 有希	皮膚科	Two Cases of Cutaneous Squamous Cell Carcinoma Arising in Immunosuppressed Patients with Chronic Human Papillomavirus Infection.	Case Rep Dermatol. 2015 Jul 25;7(2):178-82.ID: 26351427;
154	小菌 可奈	皮膚科	Pyoderma gangrenosum with increased levels of serum cytokines.	J Dermatol. 2015 Dec;42(12):1186-8.
155	中原 剛士	皮膚科	Early Tumor-Infiltrating Dendritic Cells Change their Characteristics Drastically in Association with Murine Melanoma Progression.	J Invest Dermatol. 2016 Jan;136(1):146-53.
156	中原 剛士	皮膚科	Analysis of sebum lipid composition and the development of acneiform rash before and after administration of egfr inhibitor.	Curr Oncol. 2015 Apr;22(2):e124-7.
157	中原 剛士	皮膚科	Antioxidant Opuntia ficus-indica Extract Activates AHR-NRF2 Signaling and Upregulates Filaggrin and Loricrin Expression in Human Keratinocytes.	J Med Food. 2015 Oct;18(10):1143-9.
158	中原剛士	皮膚科	Case of ossifying epithelioid hemangioendothelioma on the forearm.	J Dermatol. 2015 Aug;42(8):841-2.
159	冬野 洋子	皮膚科	Verruciform xanthoma developing in eroded skin of recessive dystrophic epidermolysis bullosa.	Eur J Dermatol. 2015 Sep-Oct;25(5):509-10.
160	古江 増隆	皮膚科	New aspects of the clinicopathological features and treatment of mycosis fungoides and Sézary syndrome.	J Dermatol. 2015 Oct;42(10):941-4.
161	古江 増隆	皮膚科	New therapies for controlling atopic itch.	J Dermatol. 2015 Sep;42(9):847-50.
162	古江 増隆	皮膚科	Gene regulation of filaggrin and other skin barrier proteins via aryl hydrocarbon receptor.	J Dermatol Sci. 2015 Nov;80(2):83-8.
163	三苦千景	皮膚科	Severe Granulomatous Rosacea in a Boy Successfully Treated with Topical Azelaic Acid.	Indian J Dermatol. 2015 May-Jun;60(3):323.
164	三苦千景	皮膚科	Yusho and its latest findings-A review in studies conducted by the Yusho Group.	Environ Int. 2015 Sep;82:41-8.
165	三苦千景	皮膚科	Current skin symptoms of Yusho patients exposed to high levels of 2,3,4,7,8-pentachlorinated dibenzofuran and polychlorinated biphenyls in 1968.	Chemosphere. 2015 Oct;137:45-51.
166	村田 真帆	皮膚科	Disseminated protothecosis manifesting with multiple, rapidly-progressing skin ulcers: successful treatment with amphotericin B.	Eur J Dermatol. 2015 Apr;25(2):208-9.
167	師井 洋一	皮膚科	Radiation-induced skin ulcer and rib fractures following percutaneous coronary intervention (PCI): A case of right back skin ulcer and adjacent rib fractures after single PCI.	J Dermatol. 2015 May;42(5):508-10.
168	岡野 慎士	皮膚科	Cutaneous epithelioid angiomatous nodule in a patient with a history of multiple pyogenic granulomas.	Eur J Dermatol. 2015 May-Jun;25(3):268-9.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
169	岩崎 渉	皮膚科	Detection of Site-Specific Blood Flow Variation in Humans during Running by a Wearable Laser Doppler Flowmeter.	Sensors (Basel). 2015 Oct 5;15(10):25507-19.
170	金子 栄	皮膚科	Transient improvement of urticaria induces poor adherence as assessed by Morisky Medication Adherence Scale-8.	J Dermatol. 2015 Nov;42(11):1078-82.
171	月森 清巳	皮膚科	Response to: Letter to the Editor: Blood levels of PCDDs, PCDFs, and coplanar PCBs in Yusho mothers and their descendants: Association with fetal Yusho disease.	Chemosphere. 2015 Aug;133:105.
172	佐伯 秀久	皮膚科	Poor adherence to medication as assessed by the Morisky Medication Adherence Scale-8 and low satisfaction with treatment in 237 psoriasis patients.	J Dermatol. 2015 Apr;42(4):367-72.
173	松本 壮平	皮膚科	Unexpectedly long half-lives of blood 2,3,4,7,8-pentachlorodibenzofuran (PeCDF) levels in Yusho patients.	Environ Health. 2015 Sep 17;14:76.
174	常深 祐一郎	皮膚科	Adherence to oral and topical medication in 445 patients with tinea pedis as assessed by the Morisky Medication Adherence Scale-8.	Eur J Dermatol. 2015 Nov-Dec;25(6):570-7.
175	礒塚 早希	皮膚科	Dioxin-Produced Alteration in the Profiles of Fecal and Urinary Metabolomes: A Change in Bile Acids and Its Relevance to Toxicity.	Biol Pharm Bull. 2015;38(10):1484-95.
176	猪口 淳一	泌尿器科	Impact of multimodal treatment on prognosis for patients with metastatic upper urinary tract urothelial cancer: Subanalysis of the multi-institutional nationwide case series study of the Japanese Urological Association.	Int J Urol. 2016 Mar;23(3):224-30.
177	清島 圭二郎	泌尿器科	Prognostic Significance of Preoperative Urine Cytology in Low-grade Non-muscle-invasive Bladder Cancer.	Anticancer Res. 2016 Feb;36(2):799-802.
178	塩田 真己	泌尿器科	Inhibition of the HER2-YB1-AR axis with Lapatinib synergistically enhances Enzalutamide anti-tumor efficacy in castration resistant prostate cancer.	Oncotarget. 2015 Apr 20;6(11):9086-98.
179	塩田 真己	泌尿器科	Secondary bladder cancer after anticancer therapy for prostate cancer: reduced comorbidity after androgen-deprivation therapy.	Oncotarget. 2015 Jun 10;6(16):14710-9.
180	塩田 真己	泌尿器科	SRD5A gene polymorphism in Japanese men predicts prognosis of metastatic prostate cancer with androgen-deprivation therapy.	Eur J Cancer. 2015 Sep;51(14):1962-9.
181	塩田 真己	泌尿器科	Low Serum Testosterone But Not Obesity Predicts High Gleason Score at Biopsy Diagnosed as Prostate Cancer in Patients with Serum PSA Lower than 20 ng/ml.	Anticancer Res. 2015 Nov;35(11):6137-45.
182	塩田 真己	泌尿器科	Crosstalk between epithelial-mesenchymal transition and castration resistance mediated by Twist1/AR signaling in prostate cancer.	Endocr Relat Cancer. 2015 Dec;22(6):889-900.
183	塩田 真己	泌尿器科	Prognostic Impact of Serum Testosterone and Body Mass Index Before Androgen-deprivation Therapy in Metastatic Prostate Cancer.	Anticancer Res. 2015 Dec;35(12):6925-32.
184	塩田 真己	泌尿器科	Taxane Chemotherapy for Hormone-Naïve Prostate Cancer with Its Expanding Role as Breakthrough Strategy.	Front Oncol. 2016 Jan 11;5:304.
185	塩田 真己	泌尿器科	Potential Role for YB-1 in Castration-Resistant Prostate Cancer and Resistance to Enzalutamide Through the Androgen Receptor V7.	J Natl Cancer Inst. 2016 Feb 8;108(7).

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑 誌 名
186	塩田 真己	泌尿器科	Steroid co-introduction with docetaxel chemotherapy for metastatic castration-resistant prostate cancer affects PSA flare.	BJU Int. 2016 Mar 17.
187	杉本 昌顕	泌尿器科	Renal cell carcinoma with rhabdoid-like features lack intracytoplasmic inclusion bodies and show aggressive behavior.	Virchows Arch. 2016 Mar;468(3):357-67.
188	杉本 昌顕	泌尿器科	Epithelial to Mesenchymal Transition in Clear Cell Renal Cell Carcinoma with Rhabdoid Features.	Pathobiology. 2016;83(6):277-86.
189	立神 勝則	泌尿器科	Role of cytoreductive nephrectomy for Japanese patients with primary renal cell carcinoma in the cytokine and targeted therapy era.	Int J Urol. 2015 Aug;22(8):736-40.
190	横溝 晃	泌尿器科	Randomized Controlled Study of the Efficacy, Safety and Quality of Life with Low Dose bacillus Calmette-Guérin Instillation Therapy for Nonmuscle Invasive Bladder Cancer.	J Urol. 2016 Jan;195(1):41-6.
191	神庭 重信	精神科神経科	Theory of mind ability predicts prognosis of outpatients with major depressive disorder.	Psychiatry Res. 2015 Dec 15;230(2):604-8.
192	神庭 重信	精神科神経科	International study on antidepressant prescription pattern at 40 major psychiatric institutions and hospitals in Asia: A 10-year comparison study.	Asia Pac Psychiatry. 2015 Dec;7(4):366-74.
193	神庭 重信	精神科神経科	Country variations in depressive symptoms profile in Asian countries: Findings of the Research on Asia Psychotropic Prescription (REAP) studies.	Asia Pac Psychiatry. 2015 Sep;7(3):276-85.
194	吉田 敬子	精神科神経科	Antenatal Risk Factors of Postpartum Depression at 20 Weeks Gestation in a Japanese Sample: Psychosocial Perspectives from a Cohort Study in Tokyo.	PLoS One. 2015 Dec 1;10(12):
195	鬼塚 俊明	精神科神経科	Spontaneous Gamma Activity in Schizophrenia.	JAMA Psychiatry. 2015 Aug;72(8):813-21.
196	鬼塚 俊明	精神科神経科	Early integration processing between faces and vowel sounds in human brain: an MEG investigation.	Neuropsychobiology. 2015;71(4):187-95.
197	中尾 智博	精神科神経科	Biological heterogeneity of obsessive-compulsive disorder: A voxel-based morphometric study based on dimensional assessment.	Psychiatry Clin Neurosci. 2015 Jul;69(7):411-21.
198	小原 知之	精神科神経科	Midlife and late-life smoking and risk of dementia in the community: the Hisayama Study	J Am Geriatr Soc
199	小原 知之	精神科神経科	Midlife and Late-Life Smoking and Risk of Dementia in the Community: The Hisayama Study.	J Am Geriatr Soc. 2015 Nov;63(11):2332-9.
200	加藤 隆弘	精神科神経科	Identification of the hikikomori syndrome of social withdrawal: Psychosocial features and treatment preferences in four countries.	Int J Soc Psychiatry. 2015 Feb;61(1):64-72.
201	加藤 隆弘	精神科神経科	Relationship between trusting behaviors and psychometrics associated with social network and depression among young generation: a pilot study.	PLoS One. 2015 Apr 2;10(3):
202	加藤 隆弘	精神科神経科	Psychopathology associated with social withdrawal: Idiopathic and comorbid presentations.	Psychiatry Res. 2015 Jul 30;228(1):182-3.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
203	Zhou Y	眼科	Erratum. M2 Macrophages Enhance Pathological Neovascularization in the Mouse Model of Oxygen-Induced Retinopathy.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2015 Oct;56(11):6990.
204	池田 康博	眼科	Long-term Surgical Outcomes of Epiretinal Membrane in Patients with Retinitis Pigmentosa.	Sci Rep. 2015 Aug 13;5:13078.
205	石橋 達朗	眼科	The REVEAL Study: Ranibizumab Monotherapy or Combined with Laser versus Laser Monotherapy in Asian Patients with Diabetic Macular Edema.	Ophthalmology. 2015 Jul;122(7):1402-15.
206	石橋 達朗	眼科	Plasma Kallikrein-Kinin System as a VEGF-Independent Mediator of Diabetic Macular Edema.	Diabetes. 2015 Oct;64(10):3588-99.
207	園田 康平	眼科	Up-regulation of DRP-3 long isoform during the induction of neural progenitor cells by glutamate treatment in the ex vivo rat retina.	Biochem Biophys Res Commun. 2015 Aug 7;463(4):593-9.
208	武田 篤信	眼科	Distinct Profiles of Soluble Cytokine Receptors Between B-Cell Vitreoretinal Lymphoma and Uveitis.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2015 Nov;56(12):7516-23.
209	中尾 新太郎	眼科	Chromovitrectomy and vital dyes.	Dev Ophthalmol. 2014;54:120-5.
210	中尾 新太郎	眼科	Spontaneous remission of acute zonal occult outer retinopathy: follow-up using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2015 Jun;253(6):839-43.
211	中尾 新太郎	眼科	Possibility of Müller Cell Dysfunction as the Pathogenesis of Paclitaxel Maculopathy.	Ophthalmic Surg Lasers Imaging Retina. 2016 Jan 1;47(1):81-4.
212	村上 祐介	眼科	Necrotic cone photoreceptor cell death in retinitis pigmentosa.	Cell Death Dis. 2015 Dec 31;6:e2038.
213	吉田 茂生	眼科	Increased vitreous concentrations of MCP-1 and IL-6 after vitrectomy in patients with proliferative diabetic retinopathy: possible association with postoperative macular oedema.	Br J Ophthalmol. 2015 Jul;99(7):960-6.
214	吉田 茂生	眼科	Reduced vitreal concentration of periostin after vitrectomy in patients with proliferative diabetic retinopathy.	Acta Ophthalmol. 2016 Feb;94(1):e81-2.
215	吉田 茂生	眼科	Vitreous cysts in patients with retinitis pigmentosa.	Jpn J Ophthalmol. 2015 Nov;59(6):373-7.
216	吉田 茂生	眼科	Factors affecting visual acuity after cataract surgery in patients with retinitis pigmentosa.	Ophthalmology. 2015 May;122(5):903-8.
217	高山 幸久	放射線科	T1 ρ Relaxation of the liver: A potential biomarker of liver function.	J Magn Reson Imaging. 2015 Jul;42(1):188-95.
218	長尾 充展	放射線科	Interventricular Dyssynchrony Using Tagging Magnetic Resonance Imaging Predicts Right Ventricular Dysfunction in Adult Congenital Heart Disease.	Congenit Heart Dis. 2015 May-Jun;10(3):271-80.
219	藪内 英剛	放射線科	Detectability of T1a lung cancer on digital chest radiographs: an observer-performance comparison among 2-megapixel general-purpose, 2-megapixel medical-purpose, and 3-megapixel medical-purpose liquid-crystal display (LCD) monitors.	Acta Radiol. 2015 Aug;56(8):943-9.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
220	西江 昭弘	放射線科	Current radiologist workload and the shortages in Japan: how many full-time radiologists are required?	Jpn J Radiol. 2015 May;33(5):266-72.
221	梶尾 理	放射線科	Scan-rescan reproducibility of parallel transmission based amide proton transfer imaging of brain tumors.	J Magn Reson Imaging. 2015 Nov;42(5):1346-53.
222	浅井 佳央里	放射線科	Clinical characteristics and outcome of pneumothorax after stereotactic body radiotherapy for lung tumors.	Int J Clin Oncol. 2015 Dec;20(6):1117-21.
223	大賀 才路	放射線科	Treatment Outcome of Radiotherapy for Localized Primary Ocular Adnexal MALT Lymphoma—Prognostic Effect of the AJCC Tumor-Node-Metastasis Clinical Staging System.	Anticancer Res. 2015 Jun;35(6):3591-7.
224	山下 孝二	放射線科	MR Imaging-Based Analysis of Glioblastoma Multiforme: Estimation of IDH1 Mutation Status.	AJNR Am J Neuroradiol. 2016 Jan;37(1):58-65.
225	古庄 憲浩	総合診療科	Incidence, serum IgE and TARC/CCL17 levels in atopic dermatitis associated with other allergic diseases: an update from the Ishigaki cohort.	Acta Derm Venereol. 2015 Apr;95(4):480-4.
226	古庄 憲浩	総合診療科	Non-invasive fibrosis assessment predicts sustained virological response to telaprevir with pegylated interferon and ribavirin for chronic hepatitis C.	Antivir Ther. 2015;20(2):185-92.
227	古庄 憲浩	総合診療科	Bacterial infection as an adverse effect of telaprevir-based triple therapy for chronic hepatitis C infection.	Intern Med. 2015;54(6):567-72.
228	古庄 憲浩	総合診療科	The kinetics of the hepatitis B surface antigen level after the initiation of antiretroviral therapy for hepatitis B virus and human immunodeficiency virus coinfecting patients.	J Infect Chemother. 2015 Apr;21(4):264-71.
229	古庄 憲浩	総合診療科	Direct-acting antiviral-based triple therapy on alpha-fetoprotein level in chronic hepatitis C patients.	World J Gastroenterol. 2015 Apr 21;21(15):4696-706.
230	古庄 憲浩	総合診療科	Glycated albumin as a diagnostic tool for diabetes in a general Japanese population.	Metabolism. 2015 Jun;64(6):698-705.
231	古庄 憲浩	総合診療科	Erratum to: A thymine-adenine dinucleotide repeat polymorphism near IL28B is associated with spontaneous clearance of hepatitis C virus.	J Gastroenterol. 2016 Mar;51(3):290.
232	古庄 憲浩	総合診療科	Comparative safety study on severe anemia by simeprevir versus telaprevir-based triple therapy for chronic hepatitis C.	J Gastroenterol Hepatol. 2015 Aug;30(8):1309-16.
233	古庄 憲浩	総合診療科	Effectiveness of triple therapy with simeprevir for chronic hepatitis C genotype 1b patients with prior telaprevir failure.	J Viral Hepat. 2015 Dec;22(12):992-1001.
234	古庄 憲浩	総合診療科	Comparative effectiveness and safety study of triple therapy with simeprevir or telaprevir for non-cirrhotic patients with chronic hepatitis C virus genotype 1b infection.	J Gastroenterol Hepatol. 2015 Dec;30(12):1759-67.
235	古庄 憲浩	総合診療科	Efficacy of interferon-beta plus ribavirin combination treatment on the development of hepatocellular carcinoma in Japanese patients with chronic hepatitis C.	Hepatol Res. 2016 Mar;46(3):E174-80.
236	古庄 憲浩	総合診療科	Importance of virological response in the early stage of telaprevir-based triple therapy for hepatitis C.	World J Hepatol. 2015 Nov 18;7(26):2688-95.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
237	古庄 憲浩	総合診療科	The association between objective tongue color and endoscopic findings: results from the Kyushu and Okinawa population study (KOPS).	BMC Complement Altern Med. 2015 Oct 16;15:372.
238	古庄 憲浩	総合診療科	The relation of postprandial plasma glucose and serum endostatin to the urinary albumin excretion of residents with prediabetes: results from the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS)	Int Urol Nephrol 2016
239	清祐 麻紀子	検査部	Comparison of two types of matrix-assisted laser desorption/ionization time-of-flight mass spectrometer for the identification and typing of Clostridium difficile.	J Med Microbiol. 2015 Oct;64(10):1144-50.
240	和田 達弘	放射線部	Effect of the saturation pulse duration on chemical exchange saturation transfer in amide proton transfer MR imaging: a phantom study.	Radiol Phys Technol. 2016 Jan;9(1):15-21.
241	吉留 郷志	放射線部	Feasibility study of automated framework for estimating lung tumor locations for target-based patient positioning in stereotactic body radiotherapy.	Biomed Res Int. 2015;2015:653974.
242	山下 考二	放射線部	High-resolution three-dimensional diffusion-weighted MRI/CT image data fusion for cholesteatoma surgical planning: a feasibility study.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2015 Dec;272(12):3821-4.
243	菊池 一史	放射線部	3D MR sequence capable of simultaneous image acquisitions with and without blood vessel suppression: utility in diagnosing brain metastases.	Eur Radiol. 2015 Apr;25(4):901-10.
244	赤星 朋比古	救命救急センター	Comparison of recombinant human thrombomodulin and gabexate mesylate for treatment of disseminated intravascular coagulation (DIC) with sepsis following emergent gastrointestinal surgery: a retrospective study.	Eur J Trauma Emerg Surg. 2015 Oct;41(5):531-8.
245	安田 光宏	救命救急センター	Treatment results of two-stage operation for the patients with esophageal cancer concomitant with liver dysfunction.	J Med Invest. 2015;62(3-4):149-53.
246	戸次 大史	病理部	Elevated expression of HSP90 and the antitumor effect of an HSP90 inhibitor via inactivation of the Akt/mTOR pathway in undifferentiated pleomorphic sarcoma.	BMC Cancer. 2015 Oct 26;15:804.
247	仲 正喜	病理部	Identification of intranuclear inclusions is useful for the cytological diagnosis of ovarian clear cell carcinoma.	2015 Nov;43(11):879-84.
248	西嶋 利光	病理部	Dual gain of HER2 and EGFR gene copy numbers impacts the prognosis of carcinoma ex pleomorphic adenoma.	Hum Pathol. 2015 Nov;46(11):1730-43.
249	高橋 俊介	病理部	Expression of adhesion molecules and epithelial-mesenchymal transition factors in medullary carcinoma of the colorectum.	Hum Pathol. 2015 Sep;46(9):1257-66.
250	瀧澤 延喜	病理部	Molecular characteristics of colorectal neuroendocrine carcinoma; similarities with adenocarcinoma rather than neuroendocrine tumor.	Hum Pathol. 2015 Dec;46(12):1890-900.
251	樋田 知之	病理部	Deletion status of p16 in effusion smear preparation correlates with that of underlying malignant pleural mesothelioma tissue.	Cancer Sci. 2015 Nov;106(11):1635-41.
252	竹中 克斗	遺伝子・細胞療法部	Cytomegalovirus Reactivation after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation is Associated with a Reduced Risk of Relapse in Patients with Acute Myeloid Leukemia Who Survived to Day 100 after Transplantation: The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation Transplantation-related Complication Working Group.	Biol Blood Marrow Transplant. 2015 Nov;21(11):2008-16.
253	岩崎 浩巳	遺伝子・細胞療法部	A TIM-3/Gal-9 Autocrine Stimulatory Loop Drives Self-Renewal of Human Myeloid Leukemia Stem Cells and Leukemic Progression.	Cell Stem Cell. 2015 Sep 3;17(3):341-52.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
254	岩崎 浩巳	遺伝子・細胞療法部	Preserved in vivo reconstitution ability of PBSCs cryopreserved for a decade at -80° C.	Bone Marrow Transplant. 2015 Sep;50(9):1195-200.
255	落合 正行	総合周産期母子医療センター	Age-specific onset and distribution of the natural anticoagulant deficiency in pediatric thromboembolism.	Pediatr Res. 2016 Jan;79(1-1):81-6.
256	落合 正行	総合周産期母子医療センター	Longitudinal study of very low birth weight infants until 9 years of age; attention deficit hyperactivity and autistic features are correlated with their cognitive functions.	Early Hum Dev. 2015 Dec;91(12):783-6.
257	日高 庸博	総合周産期母子医療センター	Correlation between lung to thorax transverse area ratio and observed/expected lung area to head circumference ratio in fetuses with left-sided diaphragmatic hernia.	Congenit Anom (Kyoto). 2015 May;55(2):81-4.
258	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	Mobile Healthcare System for Health Checkups and Telemedicine in Post-Disaster Situations.	Stud Health Technol Inform. 2015;216:79-83.
259	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	Designing Health Data Management Systems: Learning from Prominent Worldwide Applications.	Journal of Health & Medical Informatics. 2016.02. 7(1):1-3.
260	山下 貴範	メディカル・インフォメーションセンター	Visualization of Key Factor Relation in Clinical Pathway	Procedia Computer Science. 2015.08. 60:342-351.
261	中橋 龍	先端医工学診療部	Gastric endoscopic submucosal dissection using novel 2.6-mm articulating devices: an ex vivo comparative and in vivo feasibility study.	Endoscopy. 2015 Sep;47(9):820-4.
262	小幡 聡	先端医工学診療部	An Endoscopic Surgical Skill Validation System for Pediatric Surgeons Using a Model of Congenital Diaphragmatic Hernia Repair.	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2015 Sep;25(9):775-81.
263	植村 宗則	先端医工学診療部	Novel, high-definition 3-D endoscopy system with real-time compression communication system to aid diagnoses and treatment between hospitals in Thailand.	Asian J Endosc Surg. 2015 May;8(2):139-47.
264	植村 宗則	先端医工学診療部	Novel Surgical Skill Evaluation with Reference to Two-handed Coordination.	Fukuoka Igaku Zasshi. 2015 Jul;106(7):213-22.
265	荒田 純平	先端医工学診療部	Articulated minimally invasive surgical instrument based on compliant mechanism.	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2015 Nov;10(11):1837-43.
266	神保 教広	先端医工学診療部	Effectiveness of short-term endoscopic surgical skill training for young pediatric surgeons: a validation study using the laparoscopic fundoplication simulator.	Pediatr Surg Int. 2015 Oct;31(10):963-9.
267	チェヒョンソク	先端医工学診療部	An effective visualization technique for depth perception in augmented reality-based surgical navigation.	Int J Med Robot. 2016 Mar;12(1):62-72.
268	小幡 聡	先端医工学診療部	Feasibility of Single-Incision Laparoscopic Percutaneous Extraperitoneal Closure for Inguinal Hernia by Inexperienced Pediatric Surgeons: Single-Incision Versus Multi-Incision Randomized Trial for 2 Years.	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2016 Mar;26(3):218-21.
269	濱野 展人	先端医工学診療部	Förster Resonance Energy Transfer-Based Self-Assembled Nanoprobe for Rapid and Sensitive Detection of Postoperative Pancreatic Fistula.	ACS Appl Mater Interfaces. 2016 Mar 2;8(8):5114-23.
270	清水 周次	光学医療診療部	Remote transmission of live endoscopy over the Internet: Report from the 87th Congress of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society.	Dig Endosc. 2016 Jan;28(1):92-7.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
271	前島 裕司	光学医療 診療部	Risk of cancer in the rectal remnant after ileorectal anastomosis in patients with familial adenomatous polyposis: single center experience.	Dig Endosc. 2015 May;27(4):471-8
272	細川 和也	睡眠時 無呼吸 センター	Estimation of nocturnal cardiac output by automated analysis of circulation time derived from polysomnography.	Int J of Cardiology 2015 181 14-16
273	安藤 眞一	睡眠時 無呼吸 センター	Relationship between Sleep Postures and Sleep-Disordered Breathing Parameters in People with Down Syndrome in Japan.	Sleep and Biological Rhythms 2015 Oct;13(4) 323-331
274	増田 智先	薬剤部	Differences in recognition of similar medication names between pharmacists and nurses: a retrospective study.	J Pharm Health Care Sci. 2015 Jul 7;1:19.
275	増田 智先	薬剤部	Risk Factors for Predicting Severe Neutropenia Induced by Pemetrexed Plus Carboplatin Therapy in Patients with Advanced Non-small Cell Lung Cancer.	Biol Pharm Bull. 2015;38(8):1192-8.
276	増田 智先	薬剤部	Comparison of the Anti-tumor Effects of Selective Serotonin Reuptake Inhibitors as Well as Serotonin and Norepinephrine Reuptake Inhibitors in Human Hepatocellular Carcinoma Cells.	Biol Pharm Bull. 2015;38(9):1410-4.
277	増田 智先	薬剤部	Behavioral and pharmacological characteristics of bortezomib-induced peripheral neuropathy in rats.	J Pharmacol Sci. 2015 Sep;129(1):43-50.
278	増田 智先	薬剤部	Exenatide Facilitates Recovery from Oxaliplatin-Induced Peripheral Neuropathy in Rats.	PLoS One. 2015 Nov 4;10(11):e0141921.
279	増田 智先	薬剤部	Goshajinkigan reduces bortezomib-induced mechanical allodynia in rats: Possible involvement of kappa opioid receptor.	J Pharmacol Sci. 2015 Nov;129(3):196-9.
280	増田 智先	薬剤部	Involvement of intracellular cAMP in epirubicin-induced vascular endothelial cell injury.	J Pharmacol Sci. 2016 Jan;130(1):33-7.
281	増田 智先	薬剤部	Urinary kidney injury molecule-1 and monocyte chemotactic protein-1 are noninvasive biomarkers of cisplatin-induced nephrotoxicity in lung cancer patients.	Cancer Chemother Pharmacol. 2015 Nov;76(5):989-96.
282	増田 智先	薬剤部	Association of decreased mRNA expression of multidrug and toxin extrusion protein 1 in peripheral blood cells with the development of flutamide-induced liver injury.	Cancer Chemother Pharmacol. 2015 Jun;75(6):1191-7.
283	増田 智先	薬剤部	Molecular Markers of Tubulointerstitial Fibrosis and Tubular Cell Damage in Patients with Chronic Kidney Disease.	PLoS One. 2015 Aug 28;10(8):e0136994.
284	増田 智先	薬剤部	Sensitive and validated LC-MS/MS methods to evaluate mycophenolic acid pharmacokinetics and pharmacodynamics in hematopoietic stem cell transplant patients.	Biomed Chromatogr. 2015 Sep;29(9):1309-16.
285	増田 啓次	小児歯科	entral Odontogenic Fibroma Associated with Eruption Disturbance of a Permanent Incisor in a Six-Year-Old Girl.	International Journal of Dentistry and Oral Science. 2016 Mar 8;03(3):205-208
286	増田 啓次	小児歯科	Complete resolution of a calcifying cystic odontogenic tumor with physiological eruption of a dislocated permanent tooth after marsupialization in a child with a mixed dentition: a case report.	World J Surg Oncol. 2015 Sep 17;13:277.
287	山座 治義	小児歯科	In vivo hepatogenic capacity and therapeutic potential of stem cells from human exfoliated deciduous teeth in liver fibrosis in mice.	Stem Cell Res Ther. 2015 Sep 10;6:171.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
288	Ma L	小児歯科	Transplantation of mesenchymal stem cells ameliorates secondary osteoporosis through interleukin-17-impaired functions of recipient bone marrow mesenchymal stem cells in MRL/lpr mice.	Stem Cell Res Ther. 2015 May 27;6:104
289	山座 治義	小児歯科	The life-extending effect of dietary restriction requires Foxo3 in mice.	Aging Cell. 2015 Aug;14(4):707-9.
290	山座 治義	小児歯科	Overexpression of the adiponectin gene mimics the metabolic and stress resistance effects of calorie restriction, but not the anti-tumor effect.	Exp Gerontol. 2015 Apr;64:46-54.
291	梅田 まりこ	矯正歯科	MicroRNA-200a Regulates the Development of Mandibular Condylar Cartilage.	J Dent Res. 2015 Jun;94(6):795-802.
292	門野内 聡	歯内治療科	Mechanical induction of interleukin-11 regulates osteoblastic/cementoblastic differentiation of human periodontal ligament stem/progenitor cells.	J Periodontal Res. 2015 Apr;50(2):231-9.
293	門野内 聡	歯内治療科	Benzo[a]pyrene/aryl hydrocarbon receptor signaling inhibits osteoblastic differentiation and collagen synthesis of human periodontal ligament cells.	J Periodontal Res. 2016 Jan 6.
294	友清 淳	歯内治療科	Is There a Role for Neural Crest Stem Cells in Periodontal Regeneration?	Current Oral Health Reports, 2015 Oct 8, pp1-7, .
295	友清 淳	歯内治療科	Contribution of Stem Cells to Dental Tissue Regeneration: Isolation, Function, and Application.	Frontiers in Stem Cell and Regenerative Medicine Research Vol. 2, 2015
296	長谷川 大学	歯内治療科	Wnt5a Induces Collagen Production by Human Periodontal Ligament Cells Through TGF β 1-Mediated Upregulation of Periostin Expression.	J Cell Physiol. 2015 Nov;230(11):2647-60.
297	前田 英史	歯内治療科	Physicochemical properties of newly developed bioactive glass cement and its effects on various cells.	J Biomed Mater Res B Appl Biomater. 2015 Feb;103(2):373-80.
298	山崎 陽	義歯補綴科	Objective assessment of actual chewing side by measurement of bilateral masseter muscle electromyography.	Arch Oral Biol. 2015 Dec;60(12):1756-62.
299	鮎川 保則	義歯補綴科	Histological Comparison in Rats between Carbonate Apatite Fabricated from Gypsum and Sintered Hydroxyapatite on Bone Remodeling.	Biomed Res Int. 2015;2015:579541.
300	森本 太一郎	義歯補綴科	Facial bone alterations on maxillary anterior single implants for immediate placement and provisionalization following tooth extraction: a superimposed cone beam computed tomography study.	Clin Oral Implants Res. 2015 Dec;26(12):1383-9.
301	安波 礼之	義歯補綴科	Acceleration of hard and soft tissue healing in the oral cavity by a single transmucosal injection of fluvastatin-impregnated poly (lactic-co-glycolic acid) microspheres. An in vitro and rodent in vivo study.	Biomed Mater. 2015 Dec 23;11(1):015001.
302	大城 和可奈	義歯補綴科	Effects of CaCl ₂ hydrothermal treatment of titanium implant surfaces on early epithelial sealing.	Colloids Surf B Biointerfaces. 2015 Jul 1;131:141-7
303	染矢 祐孝	義歯補綴科	Thymosin beta 4 is associated with RUNX2 expression through the Smad and Akt signaling pathways in mouse dental epithelial cells.	Int J Mol Med. 2015 May;35(5):1169-78.
304	松本 浩志	義歯補綴科	The effect of intermittent use of occlusal splint devices on sleep bruxism: a 4-week observation with a portable electromyographic recording device.	J Oral Rehabil. 2015 Apr;42(4):251-8.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
305	ユニアドウイラ クマティア	義歯補綴科	Fibroblast attachment onto novel titanium mesh membranes for guided bone regeneration.	Odontology. 2015 May;103(2):218-26.
306	帆鷺 美織	義歯補綴科	Relationship between the CT Value and Cortical Bone Thickness at Implant Recipient Sites and Primary Implant Stability with Comparison of Different Implant Types.	Clin Implant Dent Relat Res. 2016 Feb;18(1):107-16.
307	前原 隆	顎口腔外科	Cytokine profiles contribute to understanding the pathogenic difference between Good syndrome and oral lichen planus: two case reports and literature review.	Medicine (Baltimore). 2015 Apr;94(14):e704.
308	豊嶋 健史	顎口腔外科	Accuracy of implant surgery with surgical guide by inexperienced clinicians: an in vitro study.	Clinical and Experimental Dental Research. 2015 Oct;1(1): 10-17.
309	田中 秀明	顎口腔外科	Additional Effects of Platelet-Rich Fibrin on Bone Regeneration in Sinus Augmentation With Deproteinized Bovine Bone Mineral: Preliminary Results.	Implant Dent. 2015 Dec;24(6):669-74.
310	神野 哲平	顎口腔外科	Increased expression of interleukin-6 predicts poor response to chemoradiotherapy and unfavorable prognosis in oral squamous cell carcinoma.	Oncol Rep. 2015 May;33(5):2161-8.
311	豊嶋 健史	顎口腔外科	Primary Stability of a Hybrid Implant Compared with Tapered and Cylindrical Implants in an Ex Vivo Model.	Clin Implant Dent Relat Res. 2015 Oct;17(5):950-6.
312	林 慶和	顎口腔外科	A case of mantle cell lymphoma presenting as IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis, so-called Mikulicz's disease.	World J Surg Oncol. 2015 Jul 25;13:225.
313	丸瀬 靖之	顎口腔外科	Case of mucoepidermoid carcinoma of the sublingual gland accompanied with extensive dystrophic calcification and intratumoral bone formation.	Head Neck. 2015 Nov;37(11):E161-4.
314	太田 美穂	顎口腔外科	DNA Microarray Analysis of Submandibular Glands in IgG4-Related Disease Indicates a Role for MARCO and Other Innate Immune-Related Proteins.	Medicine (Baltimore). 2016 Feb;95(7):e2853.
315	森山 雅文	顎口腔外科	The diagnostic utility of labial salivary gland biopsy in IgG4-related disease.	Mod Rheumatol. 2016 Mar 3:1-5.
316	岡部 優香	顎口腔外科	Swallowing Function and Nutritional Status in Japanese Elderly People Receiving Home-care Services: A 1-year Longitudinal Study.	J Nutr Health Aging. 2016;20(7):697-704.
317	林田 淳之將	顎口腔外科	Differences of stimulated and unstimulated salivary flow rates in the patients with dry mouth.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 2015 Jan;27(1):96-101.
318	緒方 謙一	顎口腔外科	Evaluation of the therapeutic effects of conditioned media from mesenchymal stem cells in a rat bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw-like model.	Bone. 2015 May;74:95- 105.
319	杉 友貴	顔面口腔外科	Hyperbaric Ox+B6:C13ygen Stimulates the Proliferation and Differentiation of Raw 264.7 Cells.Hyperbaric Oxygen Stimulates the Proliferation and Differentiation of Raw 264.7 Cells.	Open Journal of Stomatology. 5(12)
320	中野 旬之	顔面口腔外科	Relationships between Airway Morphology and Sleep Breathing Indices in Jaw Deformity Patients.	Journal of Sleep Disorders & Therapy. 4(1)
321	井上 和也	顔面口腔外科	A novel measurement method for the morphology of the mandibular ramus using homologous modelling.	Dentomaxillofac Radiol. 2015;44(8):20150062.

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
322	住田 知樹	顔面口腔外科	Custom-made titanium devices as membranes for bone augmentation in implant treatment: Clinical application and the comparison with conventional titanium mesh.	J Craniomaxillofac Surg. 2015 Dec;43(10):2183-8.
323	住田 知樹	顔面口腔外科	Double sentinel lymph node mapping with indocyanine green and 99m-technetium-tin colloid in oral squamous cell carcinoma.	Int J Oral Maxillofac Surg. 2015 Oct;44(10):1212-7.
324	大多和 徳人	顔面口腔外科	Custom-made titanium devices as membranes for bone augmentation in implant treatment: Modeling accuracy of titanium products constructed with selective laser melting.	J Craniomaxillofac Surg. 2015 Sep;43(7):1289-95.
325	住田 知樹	顔面口腔外科	A Clinical Investigation of Oral Sarcomas at Multi-institutions Over the Past 30 Years.	Anticancer Res. 2015 Aug;35(8):4551-5.
326	吉濱 直哉	顔面口腔外科	A Novel Function of CD82/KAI1 in Sialyl Lewis Antigen-Mediated Adhesion of Cancer Cells: Evidence for an Anti-Metastasis Effect by Down-Regulation of Sialyl Lewis Antigens.	PLoS One. 2015 Apr 29;10(4):e0124743.
327	峯 真理子	顔面口腔外科	miR-203 Inhibits Frizzled-2 Expression via CD82/KAI1 Expression in Human Lung Carcinoma Cells.	PLoS One. 2015 Jul 1;10(7):e0131350.
328	長野 公喜	顔面口腔外科	Tomosyn is a novel Akt substrate mediating insulin-dependent GLUT4 exocytosis.	Int J Biochem Cell Biol. 2015 May;62:62-71.
329	清水 真弓	口腔画像診断科	Effectiveness of imaging modalities for screening IgG4-related dacryoadenitis and sialadenitis (Mikulicz's disease) and for differentiating it from Sjögren's syndrome (SS), with an emphasis on sonography.	Arthritis Res Ther. 2015 Aug 23;17:223.
330	筑井 徹	口腔画像診断科	Dynamic contrast-enhanced MRI of oral squamous cell carcinoma: a preliminary study of the correlations between quantitative parameters and the clinical stage.	Br J Radiol. 2015 Jun;88(1050):20140814.
331	和田 尚久	口腔総合診療科	Immunomodulatory properties of PDLSC and relevance to periodontal regeneration.	Curr Oral Health Rep. 2:245-251, 2015.
332	寶田 貴	口腔総合診療科	Influence of SOC on the Mental Health Status of Postgraduate Trainee Dentists in Japan.	Int Arch Addict Res Med. 1:012, 2015.
333	寶田 貴	口腔総合診療科	Noncontact Monitoring of Respiration by Dynamic Air-Pressure Sensor.	Anesth Prog. 2015 Fall;62(3):100-5.
334	津田 緩子	口腔総合診療科	A Case of Obstructive Sleep Apnea Syndrome, whose Sole Complaint of Night Sweat was Eliminated with Continuous Positive Airway Pressure.	Journal of Sleep Disorders & Therapy. 4:203-204, 2015
335	井上 良介	全身管理歯科	Speaking Tracheostomy Tube and Modified Mouthstick Stylus in a Ventilator-Dependent Patient with Spinal Cord Injury.	Case Rep Emerg Med. 2015;2015:320357.
336	吉本 尚平	全身管理歯科	Surface vacuolar ATPase in ameloblastoma contributes to tumor invasion of the jaw bone.	Int J Oncol. 2016 Mar;48(3):1258-70.
337	森本 佳成	全身管理歯科	Tooth extraction in patient taking nonvitamin K antagonist oral anticoagulations.	Journal of Dental Sciences 2015 11:59-64

合計 337 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名
1	田村 健太郎	呼吸器科	外科的肺生検にて急性肺障害を伴う間質性肺炎を認め、抗ARS抗体陽性であったシェーグレン症候群の一例	日本胸部臨床: 2015 Aug;74(8): 893-9.
2	龍田 実代子	呼吸器科	小細胞肺癌を含む異時性2臓器3重複癌の1例	日本胸部臨床: 2015 Aug;74(8): 909-13.
3	龍田 実代子	呼吸器科	左肺舌区の結節影にて発見された左鎖骨下動脈肺動脈、肺静脈瘻の1例	日本呼吸器学会誌: 2015 Sep; 4(5): 417-21.
4	田村 健太郎	呼吸器科	局所麻酔下胸腔鏡検査にて診断し得た術後16年目に癌性胸膜炎にて再発した乳癌の1例	臨牀と研究: 2015 Sep; 92(9): 1185-8.
5	肥川和寛	第一外科	膵intraductal papillary mucinous neoplasmの良悪性鑑別、微小浸潤癌の取扱いにおける臨床病理学的検討	日本消化器外科学会雑誌. 2015;48(8):661-668
6	清水 周次	第一外科	国際的な遠隔医療カンファレンス運営のために必要な情報項目の標準化に向けた取り組み	日本遠隔医療学会雑誌 11(2), 118-121, 2015-10
7	工藤 孔梨子	第一外科	学術ネットワーク(SINET)を使った胎児心エコーセミナーの報告	日本遠隔医療学会雑誌 11(2), 84-87, 2015-10
8	佐山 徹郎	脳神経外科	脳血管障害に対する医療の可視化.	脳神経外科ジャーナル. 2015 24(10); 684-692
9	吉本 幸司	脳神経外科	脳腫瘍に対する医療の可視化.	脳神経外科ジャーナル 2015;24(10): 693-98.
10	石橋 達朗	眼科	糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたペガブタニブナトリウムの国内第Ⅲ相臨床試験	日本眼科学会雑誌 118(9):773-782
11	石橋 達朗	眼科	日本における視覚障害の原因と現状	日本眼科学会雑誌 118(6):495-501
12	田邊 美香	眼科	Ocular surface squamous neoplasiaの34症例	日本眼科学会雑誌 118(5): 425-432
13	工藤 孔梨子	国際医療部	国際的な遠隔医療カンファレンス運営のために必要な情報項目の標準化に向けた取り組み	日本遠隔医療学会雑誌 2015年10月 第11巻 第2号, 118-121
14	康 東天	検査部	多施設間の検査データ活用における現状と今後の課題 項目コード(JLAC10)を用いた多施設間検査情報共有のための取り組みと問題点	臨床病理(2015) 63, 129-132
15	小野 美由紀	検査部	試薬性能評価における溶血の影響確認の留意点	生物試料分析(2015) 38, 202-207

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑 誌 名
16	酒田 あゆみ	検査部	典型的な術中電気生理学的所見を呈さなかった幼児内側側頭葉てんかんの一手術例	小児脳神経(2015) 39, 435-440
17	石垣 卓也	検査部	ルミパルスを用いたHIV Ag/Ab同時検出試薬の性能評価	医学検査(2015) 64, 343-349
18	酒田 あゆみ	検査部	胚芽異形成性上皮腫瘍に伴う難治性てんかん症例における発作起始域の臨床的・病理学的検討	BRAIN & NERVE (2015)67, 525-532
19	池松 秀之	検査部	2011/12及び2012/13インフルエンザ流行期に患者より分離されたA/H3N2型ウイルス96株のNA遺伝子配列と薬剤感受性との関連についての検討	福岡医学雑誌(2015) 106, 16-22
20	池松 秀之	検査部	2013/14年流行期に患者より分離されたインフルエンザ A/H1N1pdm09, A/H3N2, Bウイルスのノイラミニダーゼ遺伝子と薬剤感受性との関連についての検討	福岡医学雑誌(2015) 106, 231-239
21	木下 美沙	検査部	パナクリアMMP-3「ラテックス」改良試薬の基礎性能評価	日本臨床検査自動化学会会誌(2015) 40, 272-275
22	木下 絵美	放射線部	放射性医薬品投与後の超音波検査における従事者の被ばくについて	日本診療放射線技師会誌. 2015; 62(748): 9(137)-14(142)
23	赤星 朋比古	先端医工学診療部	皮下脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた肝硬変症に対する新しい治療法の確立のための実験的検討.	別冊 Bio Clinica:2015Nov;4 (14):145-147.
24	増田 智先	薬剤部	エルロチニブおよびゲフィチニブ服薬患者の理解度向上のための患者教育体制の構築とその評価	医療薬学 2015年8月第41巻(8)566-577
25	増田 智先	薬剤部	トランスポーターがかかわる薬物間相互作用.	日本病院薬剤師会雑誌 2015年8月第51巻(8) 967-970
26	増田 智先	薬剤部	免疫抑制薬TDM標準化ガイドライン2014の策定 Statements. TDM研究.	日本TDM学会・免疫抑制薬TDM標準化ガイドライン策定委員会2015年3月第32巻(3)143-159
27	増田 智先	薬剤部	遺伝子多型・発現情報の肝移植後個別化免疫抑制療法への活用に関する研究.	臨床薬理2015年1月第46巻(1)43-49
28	増田 智先	薬剤部	医薬理研究 TDMに基づくエベロリムスの個別化投与.	Organ Biology2015年2月第22巻(2) 105-110
29	増田 智先	薬剤部	Tacrolimusの血中濃度測定の精度管理と評価	iMPT2014. 移植 2015年1月第50巻(1) 55-61
30	増田 智先	薬剤部	電気化学免疫測定法 (ECLIA法) を用いた tacrolimus および cyclosporin A 血中濃度測定に関する臨床的評価	移植. 2016;51(1): 58-65.

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑 誌 名
31	増田 智先	薬剤部	メトレキサート血中濃度測定における化学発光免疫測定法(CLIA法)と従来法との比較検討	TDM研究. 2016;33(1): 9-14.
32	増田 啓次	小児歯科	混合歯列期小児の全身麻酔中に生じた幼若永久歯外傷の1例.	小児歯科学会雑誌 53(3): 421-426 2015
33	増田 啓次	小児歯科	非感染性下顎骨骨髓炎と掌蹠膿疱症を伴うSAPHO症候群の1例	小児歯科学会雑誌 53(3): 427-434 2015
34	木松 敏郎	小児歯科	トモシンセシスパノラマエックス線写真のみを使った下顎の即時混合歯列分析法の開発.	小児歯科学会雑誌 53(4): 495-500 2015
35	吉嶺 嘉人	歯内治療科	Er:YAGレーザーを用いた抜髄法に関する基礎的研究	日本歯科保存学会雑誌:2014年6月;57(3):260-267.
36	松本 妃可	歯内治療科	光硬化型MTA様セメントの逆根管充填への応用 -鎖性と硬化深さに関するex vivoでの研究-	日本歯科保存学会雑誌:2014年12月;57(6):563-569.
37	新井 裕基	歯内治療科	Er:YAGレーザーを用いた逆根管窩洞形成に関する研究 -窩壁の超微構造と歯根表面の温度変化	日本歯内療法学会雑誌:2014年9月;35(3):125-132.
38	新井 裕基	歯内治療科	逆根管窩洞形成へのEr:YAGレーザー応用に関する研究 -封鎖性への影響と殺菌効果	日本歯科保存学会雑誌:2014年12月;57(6): 530-539.
39	木原 智子	歯内治療科	透明根管模型を用いたレーザー洗浄効果の解析 -2根管模型におけるPIPS効果-	日本歯内療法学会雑誌:2015年1月;36(1):17-23.
40	篠崎 昌一	顎口腔外科	シェーグレン症候群患者に対する唾液分泌促進薬の有効性と副作用の検討 セビメリン塩酸塩とピロカルピンと塩酸塩の比較	日本口腔外科学会雑誌. 2015 ;61(3), 147-153.
41	服部 昭子	放射線部	単純X線撮影業務における撮影台の高さと診療放射線技師の作業負荷の関係	日本放射線技術学会雑誌 :2015;71(12):1221-1229

合計 41 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的、適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存、事務	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、定義、対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開、事務	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年6回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回
・ 研修の主な内容 臨床研究の概要（必須知識）、臨床研究の立案から遂行まで、研究医療と規制、企業主導治験の適正な遂行、ガイダンス「ARO次世代医療センターの活用法」、認定試験	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

2 研修の実績

研修医の人数	115.75人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
赤司 浩一	血液・腫瘍内科	診療科長	31年	
赤司 浩一	免疫・膠原病・感染症内科	診療科長	31年	
北園 孝成	消化管内科	診療科長	32年	
北園 孝成	腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	32年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科	診療科長	28年	
小川 佳宏	肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	28年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	28年	
吉良 潤一	神経内科	診療科長	37年	
筒井 裕之	循環器内科	診療科長	33年	
中西 洋一	呼吸器科	診療科長	36年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	30年	
大賀 正一	小児科	診療科長	31年	
中村 雅史	第一外科	診療科長	29年	
前原 喜彦	第二外科	診療科長	40年	
中島 康晴	整形外科	副診療科長	26年	
飯原 弘二	脳神経外科	診療科長	30年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	20年	
田口 智章	小児外科	診療科長	38年	
古江 増隆	皮膚科	診療科長	37年	
江藤 正俊	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	30年	
神庭 重信	精神科神経科	診療科長	36年	
園田 康平	眼科	診療科長	25年	
中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	29年	
本田 浩	放射線科	診療科長	38年	
外 須美夫	麻酔科蘇生科	診療科長	39年	
古庄 憲浩	総合診療科	副診療科長	22年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	18年	
土方 康基	先端分子・細胞治療科	副診療科長	18年	
小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	30年	
野中 和明	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	38年	
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	29年	
赤峰 昭文	歯内治療科	診療科長	43年	
西村 英紀	歯周病科	診療科長	32年	
古谷野 潔	義歯補綴科	診療科長	35年	
古谷野 潔	咬合補綴科	診療科長	35年	

中村 誠司	顎口腔外科	診療科長	35年
森 悦秀	顔面口腔外科	診療科長	35年
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	27年
吉浦 一紀	口腔画像診断科	診療科長	34年
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	19年
二木 寿子	全身管理歯科	副診療科長	36年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
1	第一内科(血液・腫瘍内科)	血液専門医コース	22人	2人
2		腫瘍専門医コース	17人	2人
3		循環器専門医コース	14人	1人
4	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	感染症専門医コース	8人	2人
5		リウマチ専門医コース	29人	2人
6	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	27人	5人
7		消化管治療習熟コース	6人	3人
8	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	22人	4人
9		腎臓内科・医学博士取得コース	23人	4人
10		脳卒中専門医コース1	13人	3人
11		脳卒中専門医コース2	11人	3人
12		糖尿病専門医コース	14人	2人
13		高血圧専門医・臨床コース	6人	3人
14		高血圧専門医・大学院コース	5人	3人
15	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	36人	4人
16	第三内科(肝臓・膵臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・膵臓・胆道)	45人	5人
17		血液・腫瘍総合コース	6人	2人
18	心療内科	心療内科臨床研修コース	9人	6人
19	神経内科	神経内科専門医コース	8人	3人
20		神経内科専門医大学院コース	3人	2人
21		てんかん専門神経内科コース	5人	2人
22		認知症専門神経内科コース	2人	2人
23		脳卒中専門神経内科コース	4人	4人
24	循環器内科	循環器内科専門医・大学重点コース	9人	8人
25		循環器内科専門医・大学院進学コース	34人	7人
26		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	24人	5人
27		循環器内科専門医・地域医療重点コース	16人	6人
28	呼吸器科	クリティカルケアコース	28人	4人
29		感染症・び慢性肺疾患コース	14人	3人
30		臨床腫瘍コース	15人	2人
31	産科婦人科	産婦人科専門医コース	38人	13人
32		内視鏡専門医養成コース	6人	2人
33		生殖医学専門医コース	3人	2人
34		腫瘍専門医養成コース	3人	2人
35		形態病理専門医養成コース	1人	1人
36		周産期専門医・研究者コース	5人	4人
37	小児科	小児科専門医コース1(大学重点)	6人	4人
38		小児科専門医コース2(地域重点)	21人	13人
39		小児科専門医・大学院進学コース	17人	7人

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
40	第一外科	外科専門医コース	34人	13人
41		消化器外科専門医取得コース	9人	7人
42		肝胆膵外科専門医コース	3人	2人
43		内視鏡外科専門医コース	1人	1人
44		乳腺専門医コース	1人	1人
45	第二外科	外科専門医コース	15人	1人
46		消化器外科専門医コース	18人	2人
47		呼吸器外科専門医コース	6人	1人
48		心臓血管外科専門医コース	7人	1人
49		乳腺外科専門医コース	2人	1人
50	整形外科	整形外科専門医コースA	58人	6人
51		整形外科専門医コースB	48人	6人
52	脳神経外科	臨床コース	9人	2人
53	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	18人	5人
54	小児外科	一般小児外科重点コース(1)(2)	16人	3人
55		小児腫瘍外科重点コース	6人	3人
56		新生児外科重点コース(1)(2)	9人	2人
57	皮膚科	皮膚科専門医養成+美容皮膚科実践コース	6人	4人
58		皮膚科専門医養成+熱傷・皮膚科救急プライマリケアコース	11人	5人
59		皮膚科専門医養成+小児皮膚科コース	2人	2人
60		皮膚科専門医養成+皮膚科レーザー治療実践コース	7人	5人
61		皮膚科専門医養成+皮膚病理強化学習コース	6人	4人
62		皮膚科専門医養成+形成外科強化学習コース	5人	4人
63		皮膚科専門医養成+褥瘡・プライマリケアコース	7人	4人
64	泌尿器科	泌尿器科研究医師育成コース	5人	5人
65		泌尿器科臨床研究医師育成コース	4人	4人
66		臨床指導医育成コース	4人	4人
67	精神科神経科	日本精神神経学会専門医取得コース	51人	9人
68	眼科	眼科総合習得コース	6人	1人
69		角膜専門医養成コース	3人	1人
70		網膜専門医育成コース	4人	1人
71		黄斑疾患専門医育成コース	4人	1人
72	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	19人	7人
73		耳鼻咽喉科専門医・大学院コース	7人	4人
74	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	7人	6人
75		放射線診断専門医養成コース	9人	8人
76		放射線治療専門医養成コース	8人	8人
77		放射線治療専門医ならびに学位取得コース	24人	13人

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
78	総合診療科	病院総合診療医重点コース	7人	5人
79		病院総合診療医・臨床研究コース	1人	1人
80		病院総合診療医・大学院進学コース	7人	4人
81	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	51人	11人
82	病理診断科・病理部	臨床コース	6人	3人
83		大学院コース	3人	2人

計 1109人

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：①看護倫理研修、②リーダーシップ研修、③退院調整看護師育成研修、 ④問題解決技法研修
・研修の期間・実施回数：期間は平成27年度、実施回数は①1回、②2回、③2回、④1回
・研修の参加人数：①44名、②83名、③19名、④39名
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：労務管理研修会
・研修の期間・実施回数：期間は平成26年度、実施回数は1回
・研修の参加人数：172名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容：①九州大学病院がんセミナー、②福岡県メディカルスタッフがん医療研修会 ③福岡県院内がん登録研修会、④医師に対する緩和ケア研修会
・研修の期間・実施回数：①5回、②1回、③2回、④2回
・研修の参加人数：①約431名、②164名、③136名、④96名

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 石橋達朗
管理担当者氏名	各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 本田浩 薬剤部長 増田智先 総務課長 調卓二 医療連携センター長 水元一博 医療管理課長 一條敬一 患者サービス課長 黒石博行

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	病棟
		処方せん	薬剤部
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
			<p>・診療に関する諸記録及びエックス線写真は、平成20年2月1日以降の外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS（医用画像）にて電子媒体保存している。平成20年2月1日～平成24年12月31日までの一部診療に関する各科の記録書類（紹介状、入院診療計画書等）については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管している。平成25年1月1日からは全て電子媒体保存している。</p> <p>・本学で定められた保存期間（10年）内の紙カルテは診療録管理室にて一括中央管理で保管しており、保存期間を超過した紙カルテは原則廃棄している。</p> <p>・電子化前のエックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	戦略企画課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	戦略企画課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療管理課 患者サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療管理課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 延原 寿男	
閲覧担当者氏名	総務課長 調 卓二	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	

閲覧の手続の概要

九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。

【開示請求できる文書】
九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。
ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。

【不開示となる文書】
開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。

【開示・不開示決定の通知】
法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。

【開示請求手数料、開示実施手数料】
○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円
○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。

【開示請求方法】
法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する（郵送可）。

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>人は誰でも間違いを起こす可能性がある。一方、九州大学病院は特定機能病院として「患者に満足され、医療人も満足できる」医療を安全に提供するとともに、その医療の透明性を確保することを、社会から求められている。そこで本院はこの基本方針に従って、間違いを誘発しない環境や、医療上の事故等を未然に防ぐことができるシステム、ならびに医療上の事故等が発生した場合に適切に対応できる体制の構築に取り組む。</p> <p>(1) 医療安全管理委員会は病院長のもと関連部署・職員と連携し、医療の安全管理に取り組む。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会は「医療安全管理マニュアル」を作成し、職員に周知する。</p> <p>(3) 職員は医療安全管理に関する教育や研修に年度内 2 回以上参加する。</p> <p>(4) 医療上の事故等が発生した場合、職員は医療上の最善の措置をすみやかに講じるとともに、患者・家族の身体・精神状態を考慮しつつ、事実を誠実かつすみやかに説明する。</p> <p>(5) 職員はインシデント・医療上の事故等が発生した場合には、各々の規程に従って報告する。</p> <p>(6) 医療安全管理委員会は医療の安全管理対策・改善策等の情報を職員にフィードバックし、職員全体での共有を図る。</p> <p>(7) 本院は医療の安全管理に関する基本方針を病院内掲示板等にて公開する。</p> <p>(8) 患者からの相談のうち、特に医療安全に係わりがあると判断された事例についてはセーフティマネージャーが対応する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	

- ・ 設置の有無 (有)
- ・ 開催状況：年 12 回
- ・ 活動の主な内容：

- (1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。
- (2) 医療安全管理マニュアルに関すること。
- (3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。
- (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。
- (5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。
- (6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。
- (7) 医療事故等発生時の患者や家族への説明に関すること。

- (8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。
- (9) 医療安全管理部（以下「安全管理部」という。）の業務に関すること。
- (10) 医療事故調査制度に関すること。
- (11) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 43 回

- ・ 研修の主な内容:別紙のとおり

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

○インシデント情報の発信

日々報告のあるインシデント事例より特に警鐘を促すべき事例について毎月1回ニュース（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している

○リスクマネージャーを対象とした研修会の開催

○医療安全管理マニュアルとホームページの改訂

○「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果のホームページへの掲載

○再活性化B型肝炎予防策策定とシステム改修の検討

○PET-CT検査前チェックリストの作成、改訂

○ガベキサートメシル酸塩の院内ルール作成、周知

○報告すべき事例の例示

○インスリン注射指示だし、指示受け実施に関する院内ルール作成、周知

○透視室救急カート、AED配置状況改善

No.	開催日	開始時間	時間	場所	受講者数 (人の数)	受講者数 (人の数)					受講者数 (人の数)	(内訳)					研修会名	テーマ	講師	
						聴講者	聴講者 聴講者	聴講者 聴講者	聴講者 聴講者	聴講者 聴講者		聴講者 聴講者	聴講者 聴講者	聴講者 聴講者	聴講者 聴講者	聴講者 聴講者				聴講者 聴講者
35	平成27年12月14日	18:00	30分	医学部本館(第3講堂) 1階講義室AB	40	38	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2	2	臨床情報に関する院内セミナー 「臨床情報における感染・医療対策」	南利根壽科 怡土 健一	
36	平成27年12月17日	17:30	30分	臨床大講堂	128	54	5	12	47	10	0	0	0	0	0	0	0	医療安全管理研修会 (医療安全管理部)	医療安全管理部 後 慎	
37		10:00	60分															BSIは医療安全の基本 ・医療安全とSIS ・感染防止のための環境管理 -私たちがSISに知り尽くしています	DVD教材使用	
38	平成28年2月1日	14:00	60分	臨床大講堂	318	210	0	20	22	66	11	0	0	0	0	0	0	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD研修会)		
39		17:00	60分																	
40	平成28年2月10日	18:00	60分	臨床大講堂	137	87	1	4	26	19	3	0	0	0	0	0	0	個人情報保護委員会主催、医療安全管理部共催 平成27年度「研大大学病院 個人情報保護セミナー」 -個人情報保護について	・南利根 寿科 ・南利根 寿科 ・南利根 寿科 ・南利根 寿科	
41	平成28年2月19日	19:30	60分	臨床大講堂	65	30	3	0	30	2	0	0	0	0	0	0	0	(MSD)主催、医療安全管理部共催 「高齢入居者における不慮転倒の予防 ～せん定対策もあわせて～」		
42	平成28年3月19日	17:30	30分	臨床大講堂	120	45	1	12	57	5	2	0	0	0	0	0	0	医療安全管理研修会 (医療安全管理部)	平成27年度優秀報告3冊書	
43	平成28年3月17日	17:30	60分	臨床大講堂	24	9	0	1	1	13	1	0	0	0	0	0	0	「研大大学病院 病院機能評価とどう活用するのか」 (医療安全管理部)	東北大学 大学院医学系研究科 公共健康学専攻 医療安全管理学分野 藤澤 研司 ・国立大学病院「クベース」 ・DVD教材)	
平成27年4月～ 平成27年3月					97	67	0	2	26	2	2	0	0	0	0	0	0	0	医療安全管理DVD研修会 (DVD教材)	
合計					8,345	3,022	216	619	3,287	998	127	一人あたり					2.64	回		

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 院内感染発生時の対応に関する基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 院内感染対策のための措置に関する審議 職員の教育・研修に関する審議 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案・実施、職員への周知	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年37回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 別紙のとおり	
④ 従業者に対する院内感染対策のためのDVD研修の実施状況	年40回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 別紙のとおり	
⑤ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備 (有)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">感染症法に基づく院内報告基準の改訂感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認経路別予防策の指導・教育手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認ベストプラクティスの作成、遵守状況確認抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例）交差感染防止のための自動蓄尿装置使用禁止	

2015年度 院内感染対策研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

開催日	開催時間	参加人数 (学生含む)	受講者数	(内訳)					研修会名	テーマ等	講師等
				医師 院内医師	薬剤師	技師系 職員	看護系 職員	事務職員			
1	2015年4月14日	40	40	37	0	3	0	0	母子総合研究リサーチセンターコアプログラム(小児科) (院内感染対策研修会共催)	なるほど！レンサ球菌	①小児科 准教授 菊澤 光正 ②小児科 助教 神野 俊介
2	2015年4月14日	1,447	1,445	419	33	161	714	118	医療安全管理・院内感染対策合同研修会	①ネットワークマニュアル説明会 ②院内感染対策上必要の届出 ③アンチバイオフィウムの活用	①医療安全管理部 セーフティマネージャー 岩切 美津子 ②グローバル感染症センター 感染対策担当看護部長 安永 幸枝 ③ICT医師 西田 留梨子、三宅 典子、西尾 善孝
5	2015年4月16日	81	81	25	2	6	47	1			
7	2015年5月11日	520	520	186	6	49	247	32	医療安全管理・院内感染対策合同ピデオ研修会	再活性化B型肝炎の発生予防に関する院内の新たな取り組み	DVD(2014年度実施 肝臓・腫瘍・胆道内科 講師 古藤 和浩)
9	2015年5月26日	937	937	219	17	91	533	77			
14	2015年6月15日	372	367	114	39	56	185	23	医療安全管理・院内感染対策合同研修会	①抗菌薬の適正使用について ②医薬品の安全管理	①薬剤部 薬剤師 山田 孝明 ②薬剤部 薬剤主任 吉田 英
15	2015年6月18日	256	266	143	3	39	58	13	呼吸管理セミナー(院内感染対策研究会共催)	①閉鎖期の呼吸管理 一感染対策も含め ②これぞ安心、気運確保 ③安全性を考慮した感染吸入療法の実践	①消化器、総合外科 助教 駒置 洋介 ②麻酔科 主任 助教 本山 嘉正 ③呼吸器科 助教 渡田 直樹
16	2015年6月19日	43	43	0	0	0	43	0	感染対策担当リンクナーズ定例会研修会	ヒューバードラスを用いたGvHD取扱いの実際	DVD教材、演習
17	2015年6月29日	324	315	94	1	41	147	32	医療安全管理・院内感染対策合同研修会(ピデオ研修)	①RRS(Rapid Response System)について ②職業感染防止対策とアウトブレイクについて	DVD教材
19	2015年7月16日	225	225	80	10	25	101	9	医療安全管理・院内感染対策合同研修会	①除菌活動の取扱いについて ②海外旅行の際に注意すべき感染症	①MEセンター 臨床工学技士 根本 裕哉 ②グローバル感染症センター 助教 豊田 一弘
20	2015年8月4日	266	266	81	11	17	132	25	医療安全管理・院内感染対策合同研修会	①血管外漏出とその対応 ②HIVの院内感染対策	①皮膚科 助教 清水 政博 ②総合診療科 講師 村田 昌之
21	2015年8月20日	17	17	3	0	0	14	0	北棟7階と病棟出前研修	MERSおよびSFTSを中心に職員の感染対策	グローバル感染症センター センター長 下野 博行
22	2015年9月2日	613	613	218	3	69	201	122	医療安全管理・院内感染対策合同研修会(ピデオ研修)	①輸血にまつわる素朴な疑問 ②防疫対策について	DVD教材
25	2015年9月11日	71	71	47	0	5	14	5	院内感染対策セミナー	結核の診断・治療、感染症としての対応	独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター 呼吸器内科 非常勤医師 重藤 えり子
26	2015年9月29日	23	23	22	0	0	1	0	Live on Nutrition Seminar(ウェブセミナー)	みんなで取り組む感染対策と医療安全	京都大学病院後援部・感染制御学教授 一山 智

2015年度 院内感染対策研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

開催日	開催時間	参加人数 (学生含む)	受講者 数	(内訳)					研修者数	研修科目	研修内容	研修等
				医師 数	薬剤師 数	技師系 職員	看護系 職員	事務職員				
27 2015年10月6日	60分	283	283	118	1	26	122	16	医療安全管理・院内感染対策合同研修会	①消化器領域の感染症と内臓感染症 ②内臓感染症の取り扱いについて	①光学医療診療部 助教 前島 裕司 ②MEセンター 臨床工学技士 峰 真太郎	
28 2015年10月15日	90分	115	115	56	4	11	37	7	呼吸管理セミナー (院内感染対策研修会共催)	①看護師から見た呼吸管理における医療安全について ②重症呼吸不全に対する対応 ③小児科/アレルギー領域の呼吸器感染症	①南棟7階2病棟 副看護師長 久保 由紀恵 ②南中治療部 助教 牧 盾 ③小児科/アレルギー領域感染症センター 助教 西尾 善孝	
29 31 2015年11月12日	60分	554	554	273	28	31	110	112	医療安全管理・院内感染対策合同研修会(ピデオ研修)	再活性化B型肝炎の発生予防に関する院内の新たな取り組み	DVD(2015年度実施 肝臓・腎臓・胆道内科 講師 古藤 和浩)	
32 2015年11月18日	60分	259	259	134	13	25	52	35	医療安全管理・院内感染対策合同研修会	5Sは医療安全の基本 ①医療安全と5S ②感染防止のための環境管理 ③私たちは5Sに取り組んでいます	①テルモ株式会社 生野 利子 ②グローバル感染症センター 安永 幸枝 ③医療安全推進委員会 佐藤 千里	
33 2015年12月21日	60分	18	18	18	0	0	0	0	消化器・総合外科出前研修	線難問	グローバル感染症センター センター長 下野慎行	
34 36 2016年2月1日	60分	329	318	210	0	20	22	66	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (ピデオ研修会)	5Sは医療安全の基本 ・医療安全と5S ・感染防止のための環境管理 ・私たちは5Sに取り組んでいます	DVD教材	
37 2016年2月18日	90分	128	127	96	0	12	14	5	呼吸管理セミナー (院内感染対策研修会共催)	①NIPPVを含めた人工呼吸器の管理 ②気切の管理 ③高齢者呼吸器感染症の管理	①MEセンター 重葦 明弘 ②耳鼻咽喉科 清原 英之 ③福岡大学病院 呼吸器内科 藤田 昌樹 診療教授	
合計		6,921	6,893	2,593	171	687	2,744	698	一人当たり出席数 2.18		37回	

2015年度 院内感染対策研修会

○ DVD研修会

開催日	開催時間	参加人数 (学生含む)	受講者 数	(内訳)					研修者 数	研修者 名	テーマ等	講師等
				医師 数	薬剤師 数	看護師 数	研修員					
							研修生 数	研修員 数				
25	2016年3月16日	60分	1	1	0	0	0	0	0	腎・高血圧・脳血管内科出前研修	医療関連感染対策概論	DVD教材
26	2016年3月17日	60分	10	10	0	0	0	0	0	眼科出前研修	・感染性病原体の伝播予防の基本 ・処置別感染予防策	DVD教材
27	2016年3月23日	60分	2	2	0	0	0	0	0	先端医学光学診療部出前研修	・大丈夫？手術部位感染対策 ・MDRP Outbreak?	DVD教材
28	2016年3月23日	60分	3	3	0	0	0	0	0	整形外科出前研修	CDのガイドラインに基づく医療現場における感染対策の実践	DVD教材
29	2016年3月23日	60分	1	1	0	1	0	0	0	薬剤部出前研修	感染性医薬物と環境整備	DVD教材
30	2016年3月24日	60分	1	1	0	0	0	0	0	先端医学光学診療部出前研修	感染性医薬物と環境整備	DVD教材
31	2016年3月24日	60分	3	3	2	0	0	0	1	小児歯科・スベシヤルニーズ歯科出前研修	処置別感染防止対策と職業感染防止対策	DVD教材
32	2016年3月24日	60分	2	2	2	0	0	0	0	歯周病科出前研修	処置別感染予防策	DVD教材
33	2016年3月25日	60分	3	3	0	0	0	3	0	北棟外来4・5階出前研修	・医療関連感染対策概論 ・感染経路別予防策と感エチケット	DVD教材
34	2016年3月25日	60分	4	4	0	0	0	0	4	メデイカルフロンティアセンター出前研修	SSIは医療安全の基本	DVD教材
35	2016年3月25日	60分	1	1	1	0	0	0	0	小児歯科・スベシヤルニーズ歯科出前研修	感染経路別予防策と感エチケット	DVD教材
36	2016年3月25日	60分	6	6	0	0	0	0	6	アジア遠隔医療開発センター出前研修	感染性病原体の伝播予防の基本	DVD教材
37	2016年3月25日	60分	3	3	3	0	0	0	0	脳神経外科出前研修	・大丈夫？手術部位感染対策 ・MDRP Outbreak?	DVD教材
38	2016年3月30日	60分	1	1	1	0	0	0	0	総合周産期母子医療センター出前研修	処置別感染予防策	DVD教材
39	2016年3月31日	60分	6	6	6	0	0	0	0	総合補綴科出前研修	・処置別感染防止対策と職業感染予防策 ・医療関連感染対策概論	DVD教材
40	2016年3月31日	60分	5	5	3	0	2	0	0	耳鼻咽喉科出前研修	・感染経路別予防策と感エチケット ・処置別感染予防策	DVD教材
合計			211	211	175	1	5	13	17		一人当たり出席数 0.07	40回

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 15 回
・ 研修の主な内容：別紙のとおり	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有) ・ 業務の主な内容： ○看護師、薬剤師による病棟および外来詰所配置注射薬の管理状況チェック (週1回) ○薬剤師による病棟及び外来詰所配置薬剤全般の管理状況チェック (3ヶ月毎) ○救急カート内注射薬の見直し、期限チェック、入れ替え	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ○手順書の見直し ○情報の院内通知 (ホームページ、電子メール、オーダシステム上) 特に重要な情報については、処方医に文書を送付 ○副作用を収集して院内に周知するとともに、重篤事例を厚生労働省へ報告 ○疑義照会データの共有による医師のオーダ内容の適正化 ○類似名称薬剤の処方、調剤、与薬間違い防止のためにオーダ名称表示方法を工夫	

平成27年度 医薬品安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成27年6月15日	60分	百年講堂大ホール	546	医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (医薬品安全管理専門委員会共催)	・抗菌薬の適正使用 ・医薬品の安全管理について	薬劑部 山田 孝明 薬劑部 吉田 実
2	平成27年7月9日	60分	臨床大講堂	71	医療安全管理研修会 (医薬品安全管理専門委員会)	糖尿病の注射治療 ・GLP-1受容体作動薬について ・院内採用のインスリンを知らう	・内分泌代謝・糖尿病内科 林田 英一 ・薬劑部 南 晴奈 ・看護部 梶野 美保
3	平成27年11月12日	60分	臨床大講堂	537	医療安全管理 院内感染対策合同研修会 (医薬品安全管理専門委員会共催)	再活性化B型肝炎の発生予防に関する院内の新たな取り組み	DVD教材使用
小計				1154			

○ 採用者への研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成27年4月3日	60分	薬劑部学生指導室	11	薬劑部新採用者等集中教育	薬劑部におけるリスクマネジメント	薬劑部 金谷 嗣子 副薬劑部長
2	平成27年5月13日	90分	臨床大講堂	123	看護部1ヶ月フォローアップ研修	医薬品の管理と安全管理について	薬劑部 渡邊 裕之 副薬劑部長
小計				134			

○ 職種別研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成27年4月28日	30分	北棟10階カンファレンス室	16	北棟10階病棟看護師向け講義	IV投与時の注意点	薬劑部 平野 めぐみ 薬劑師
2	平成27年5月1日	15分	南棟5階カンファレンス室	14	北棟11階1病棟看護師勉強会	麻薬の管理について	薬劑部 末次 王卓 薬劑師
3	平成27年6月25日	30分	北棟8階1病棟カンファレンス室	11	北棟8階1病棟看護師勉強会	糖尿病・腎薬について	薬劑部 佐田 裕子 薬劑師
4	平成27年6月30日	30分	北9階ナースステーション	23	北棟9階看護師勉強会	麻薬管理について	薬劑部 南 晴奈 薬劑師
5	平成27年7月8日	60分	北2F栄養指導室	23	平成27年度糖尿病指導看護師学会	最近話題の糖尿病治療薬	薬劑部 南 晴奈 薬劑師
6	平成27年8月20日	20分	百年講堂中ホール	68	看護職員院内研修 糖尿病患者の理解とケアJ	糖尿病の薬物療法	薬劑部 南 晴奈 薬劑師
7	平成27年9月17日	45分	南棟9階カンファレンス室	13	南棟9階看護師勉強会	乳がんの化学療法について	薬劑部 吉澤 裕子 薬劑師
8	平成27年10月9日	30分	南棟9階カンファレンス室	12	南棟9階看護師勉強会	大腸がんの化学療法について	薬劑部 川尻 雄大 薬劑師
9	平成27年11月17日	45分	ハートセンターカンファレンスルーム	13	病棟看護師向け講義	内服薬の注意点・病棟薬劑師の活動内容	薬劑部 薬劑師 齋藤 麻美
10	平成27年11月19日	45分	南7階カンファレンスルーム	13	病棟看護師向け講義	南7-2階 脳神経外科 化学療法に関する勉強会	薬劑部 薬劑師 松本 慎太郎、片山 美幸
小計				206			

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年43回
・ 研修の主な内容：別紙のとおり	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有)	
・ 保守点検の主な内容：	
(1) 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。	
(2) 日常点検(始業、使用中、終業)と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順書により実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)	
・ その他の改善のための方策の主な内容：	
(1) 院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。	
(2) 院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。	
(3) 収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。	

平成27年度 医療機器関連研修会

○ 全体 (全病院職員) に向けた内容の研修会

日付	機種分類	研修会分類	研修会名	会場	講師 (敬称略)	主催・共催	医師	看護師	C.E	その他	計
1/20/15.6.18	人工呼吸器	機器安全使用のための研修会	第31回呼吸管理セミナー	百寿講堂	植高 洋介 ほか	呼吸管理セミナー 医療安全管理部 グローバル感染症センター 医療機器安全管理専門委員会	142	58	36	20	256
2/20/15.7.16	除動器	機器安全使用のための研修会	除動器取り扱い研修会	百寿講堂	徳本 裕哉	医療安全管理部	86	105	26	23	240
3/20/15.10.6	内臓臓器	機器安全使用のための研修会	内臓臓器取り扱い研修会	徳本大講堂	峰 慎太郎 ほか	医療機器安全管理専門委員会	118	122	26	17	283
4/20/15.10.15	人工呼吸器	機器安全使用のための研修会	第32回呼吸管理セミナー	徳本大講堂	久保 由紀恵 ほか	呼吸管理セミナー グローバル感染症センター 医療機器安全管理専門委員会	56	37	11	11	115
5/20/16.2.18	人工呼吸器	機器安全使用のための研修会	第33回呼吸管理セミナー	百寿講堂	高瀬 明弘 ほか	呼吸管理セミナー グローバル感染症センター 医療機器安全管理専門委員会	96	14		17	127

○ 機器安全使用のための研修会

日付	機種分類	研修会分類	研修会名	会場	講師 (敬称略)	主催・共催	医師	看護師	C.E	その他	計
1/20/15.4.17	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	医用電氣について	南3階 手術部	MEセンター 佐々野浩一	MEセンター		13			13
2/20/15.4.20	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	体外式ベベス-メカ取り取り研修会	北3F ハートセンター	平和野瀬 山本氏	MEセンター		21	1	9	31
3/20/15.4.30	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	シリジボンプ取り扱い研修会	北3階 手術部	MEセンター 佐々野浩一	MEセンター		11			11
4/20/15.5.11	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	人工心臓用システム型マスク取り取り研修会	北31F MEセンター	JMS 村上氏	MEセンター		9			9
5/20/15.5.13	除動器	機器安全使用のための研修会	循環器研究2 心臓除動器	百寿講堂	栗田隆子	看護部		144			144
6/20/15.5.29	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	全身静脈輸液装置	南3階 手術部	MEセンター 佐々野浩一	MEセンター		8			8
7/20/15.6.8	人工呼吸器	機器安全使用のための研修会	人工呼吸器用ヘルメット型マスク取り取り研修会	北31F MEセンター	エムシーメディカル	MEセンター		11			11
8/20/15.6.17	血液浄化装置	機器安全使用のための研修会	ICUでのHD・HDFについて	南3階 ICU	MEセンター 藤本裕哉	MEセンター		15	6		28
9/20/15.10.6	血液浄化装置	機器安全使用のための研修会	CHDFについて	南3階 ICU	MEセンター 藤本裕哉	MEセンター		28			28
10/20/15.10.8	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	PPS速心ポンプ「キャピロック」速心ポンプ」取り扱い研修会	北31F 地下1階共用会議室	テルモ 菊池氏	MEセンター		10			10
11/20/15.12.21	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	二プロ体外装置補助人工心臓「VCT-50」取り扱い研修会	南3階 ICU	MEセンター 定松博夫	MEセンター	2	24	10		36
12/20/16.1.14	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	人工心臓用薬液手帳について (抄録)	北31F 地下1階共用会議室	MEセンター 定松博夫	MEセンター			11		11
13/20/16.1.18	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	心臓保護システムについて	北31F MEセンター	コスモテック 大野氏	MEセンター		9			9
14/20/15.1.22	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	二プロ体外装置補助人工心臓「VCT-50」取り扱い研修会	北3階 ハートセンター	MEセンター 定松博夫	MEセンター		11			11
15/20/16.2.1	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	バルブエキシメーター「Masimo Root+Seal Line」について	北31F 地下1階共用会議室	マシモジャパン 石野氏	MEセンター		4			4
16/20/16.2.12	除動器	機器安全使用のための研修会	除動器の取り扱い研修会	南3階 NICU	アトムメディカル 川原氏	MEセンター		15	1		16
17/20/16.2.15	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	バルブエキシメーター「Masimo New Radical7」について	北31F 地下1階共用会議室	マシモジャパン 藤田氏	MEセンター		7			7
18/20/16.3.9	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	ECMOに関する研修会	南3階 ICU	Dr. 藤田, 水口, CE氏	ICU	16	31	5		52
19/20/16.3.7	除動器	機器安全使用のための研修会	除動器深部着「Incu」取り扱い研修会	北31F MEセンター	アトムメディカル 川原氏	MEセンター		12			12
20/20/16.3.24	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	CO2レーザー「Versa plus」取り扱い研修会	南3階 手術部	日本ルミナス 栗原氏	MEセンター		11			11

○ 機器導入時説明会

日付	機種分類	研修会分類	研修会名	会場	講師 (敬称略)	主催・共催	医師	看護師	C.E	その他	計
1/20/15.4.8	その他ME機器	機器導入時説明会	電撃ス「SHAPPER D」取り扱い研修会	南3階 ICU	東工医療 高橋氏	MEセンター				7	7
2/20/15.5.25	人工心臓・補助循環装置	機器導入時説明会	人工心臓「インスピアP6」取り扱い研修会	北31F 地下1階共用会議室	ソリーノ 岡本氏	MEセンター			8		8
3/20/15.6.5	その他ME機器	機器導入時説明会	超音波エコー装置「ARETTA70」取り扱い研修会	南3階 手術部	日立アロカメディカル 伊藤氏	MEセンター			7	43	50
4/20/15.6.22	その他ME機器	機器導入時説明会	近赤外線組織硬化モニター「INFO-200NX」取り扱い研修会	北31F MEセンター	アイエムアイ 永重氏	MEセンター			8		8
5/20/15.6.25・26	その他ME機器	機器導入時説明会	全身麻酔器「Parasus A500」取り扱い研修会	南3階 手術部	ドレーグルメディカル 森氏	MEセンター	4	28	7		39
6/20/15.7.7・8	除動器	機器導入時説明会	集注用除動器「V-707」取り扱い研修会	北31F MEセンター	アトムメディカル 川原氏	MEセンター			7		7

7/2015.7.27	脳神経器	機器導入説明会	脳神経器「ハートスタートMFX」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	フクダ電子 中田氏	MEセンター			9		9
-------------	------	---------	-------------------------	-------------	-----------	--------	--	--	---	--	---

○ 機器導入時説明会

日付	機器分類	研修会分類	研修会名	会場	講師(敬称略)	主催・共催	医師		受講者		
							数量	種別	数量	種別	
8/2015.7.29	その他ME機器	機器導入時説明会	電気スズ「SHAPPERAU」取り扱い研修会	南3階 手術部	東工医科 河村氏	MEセンター		23	2	96	121
9/2015.8.10	人工呼吸器	機器導入時説明会	人工呼吸器「ハミングクス」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	日本光電 西嶋氏	MEセンター			6		6
10/2015.10.13・14	人工呼吸器	機器導入時説明会	ネーガルハイプロー「アレジジョンプロー」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	日本メディカルシステム 安藤氏	MEセンター			10	44	54
11/2015.10.22・28	その他ME機器	機器導入時説明会	血液・輸液加温装置「レンジャー」取り扱い研修会	南3階 手術部	スリーエムジャパン 松原氏	MEセンター			10		10
12/2015.11.16	人工心臓・補助循環装置	機器導入時説明会	IABP/バルーン「YAMATO PLUS RJ」取り扱い研修会	北B1F 地下1階共用会議室	マックシジャパン 橋本氏	MEセンター			11		11
13/2015.11.17~18	脳神経器	機器導入時説明会	脳神経器「ハートスタートMFX」取り扱い研修会	南3階 ICU	フクダ電子 中田氏	MEセンター		24			24
14/2015.11.16	その他ME機器	機器導入時説明会	非侵襲心拍出量測定装置「クリアサイトシステム」取り扱い研修会	南3階 手術部	エドワーズ 森山氏	MEセンター			6		6
15/2016.1.21	その他ME機器	機器導入時説明会	一般心電図解析システム「アイノプロ-OS」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	イカリアジャパン 藤永氏	MEセンター			8		8
16/2016.2.16	人工呼吸器	機器導入時説明会	人工呼吸器「HAMLTON・T1」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	日本光電 大西氏	MEセンター			11		11
17/2016.2.29~3.4	その他ME機器	機器導入時説明会	日本光電 セントラルモニター取り扱い研修会	北B1F MEセンター	日本光電 白石・安藤氏	MEセンター		176	5		181
18/2016.3.17	人工呼吸器	機器導入時説明会	人工呼吸器「HAMLTON・MFT1」取り扱い研修会	北B1F MEセンター	日本光電 大西氏	MEセンター			7		7

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況	
計画書の提出あり	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況	
計画書の提出あり	
・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況	
・担当者の指名の有無(有・無)	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)	
・規程の主な内容：	
計画書の提出あり	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
・活動の主な内容：	
計画書の提出あり	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち医師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 ・活動の主な内容： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">計画書の提出あり</div> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ） ・規程の主な内容： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">計画書の提出あり</div> <ul style="list-style-type: none"> ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ） 	
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ） ・規程の主な内容： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">計画書の提出あり</div> <ul style="list-style-type: none"> ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有・無 ） 	

⑨ 監査委員会の設置状況	有・無
--------------	-----

・監査委員会の開催状況：年 回

・活動の主な内容：

計画書の提出あり

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）

・委員名簿の公表の有無（有・無）

・委員の選定理由の公表の有無（有・無）

・公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容

計画書の提出あり

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ）・無）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ）・無）
- ・技術的助言の実施状況

計画書の提出あり

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
- 「患者相談支援室」：患者相談対応を目的として設置
- ・医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼
- 「意見箱」：患者、職員等からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置
- ・外来診療棟1階ロビー、北棟・南棟1階エレベーターホール、及び北棟・南棟5階から11階までの各ラウンジに設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記
- ・医療安全に係る内容に関する意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告
- 「医療安全管理に関する基本方針」に記載のとおり、「患者からの相談のうち、特に医療安全に係わりがあると判断された事例についてはセーフティマネージャーが対応する。」体制となっている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

計画書の提出あり

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

計画書の提出あり

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

計画書の提出あり

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	
1) 「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価Ver.6.0」の更新審査を平成24年10月に受審し平成25年2月1日付けで認定（認定期間～平成30年1月27日）	
2) 「公益財団法人日本適合性認定協会」の「ISO15189」（臨床検査室）の更新審査を平成25年11月に受審し平成26年3月26日付けで認定（認定期間～平成30年3月31日）	
3) 「日本輸血・細胞治療学会」の「I&A」（遺伝子・細胞療法部）の更新審査を平成26年10月に受審し平成27年4月30日付けで認定（認定期間～平成32年3月31日）	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要	
○病院のホームページ	
外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供	
○広報誌	
1)病院概要（県内病院、国立大学、官公庁向けに送付）	
診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供	
2)九大病院ニュース（県内外の病院、県医師（歯科医師）会、大学病院、官公庁向けに送付）	
先進医療、臨床研究、医療連携、センター、トピックス等の情報を提供	

3) 九大病院だより（患者向けに配布）

診療科・センターの診断・治療、外来診療日一覧、トピックス等の情報を提供

4) 診療科リーフレット（患者向けに配布）

病気の症状・治療法・検査内容等を診療科ごとに案内

○記者懇談会

九州大学記者クラブ（新聞社、テレビ局）に本院の情報を提供（新治療法、施設設置等）

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無

有・無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

○周術期支援センター

手術を受ける患者に、安全かつ円滑に手術前後の時期（周術期）を過ごしてもらうため、医師や看護師など他職種が連携して周術期管理の質の向上を目指す、周術期支援センターを開設した。

患者の全身状態は周術期の安全の維持に非常に大きな意味を持っていることから、周術期支援センターでは、麻酔科医が入院前に診察を行い、全身状態を把握し、手術に支障となる問題点があれば、どちらの治療を優先するべきかどうか判断する。専任看護師は身体的精神的評価と麻酔・手術のオリエンテーションを行い、不安の軽減に努める。また、周術期口腔ケアセンターと連携し、口腔ケアを確実にを行い、周術期感染症の減少にも努める。手術前に中止すべき薬剤の確認を薬剤師が行い、確認もれによる手術中止や延期を防ぐ。このように患者を中心として、外科系医師、麻酔科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、放射線部、事務など様々な職種が密に連携をとり協力して患者支援を進める体制をとっている。